

学生生活に関する調査

報告書



日本私立短期大学協会

学生生活委員会

平成20年12月



目 次

調査の概要	1
回答者の内訳	2
問1. 短期大学に進学した理由は何ですか。	3
問2. 学生生活のどのようなところに満足していますか。	4
問3. 学生生活の中で改善して欲しいことは何ですか。	6
問4. 貴学は居心地がよいですか。	7
問5. キャンパスの中で、あなたのお気に入りの場所はどこですか。	8
問6. 図書館を主にどのように利用していますか。	9
問7. 短大教育の中で、より充実してほしいものは何ですか。	10
問8. 今、授業以外で時間をかけているものは何ですか。	12
問9. あなたの健康管理についてお聞きします。	
(1) 一日の食事について	14
(2) 夕食の形態で最も多いもの	15
(3) 一日の平均睡眠時間について	16
(4) 健康状態について	17
問10. 今抱えている不安や悩み、気になっていることはどのようなことですか。	18

問11. やがて社会人になるために、特に身に付けておく必要のある基本的な生活習慣とは何だと思えますか。	・	20
問12. 将来「働くこと」についてどのように考えていますか。	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
問13. 適切に提供して欲しい情報の内容はどのようなことですか。	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
問14. 連絡方法で改善して欲しいことは何ですか。	・・・・・・・・・・・・・・・・	23

付・学生生活委員会委員一覧

学生生活に関する調査

調査の概要

1) 調査の目的

社会情勢の著しい変化の中、全国の短期大学生がどのような意識を持って学生生活を過ごしているのかを把握し、今後の私立短期大学におけるよりよい学生生活指導・支援を模索するための資料とする。

学生を対象としたアンケート調査は過去にも実施しているが、今回は、日ごろ我々が学生と接する中で、理屈や道理ではなく、感覚によって物事を捉え判断することが多く見受けられる現代学生の気質を考慮に入れて設問および選択肢を組み立て、学生が感じとっている学生生活に対する率直な思いや考えを確認することとした。その結果から、学生が望む短期大学生生活や短期大学教育を知る手がかりとしたい。

なお、本調査は今回を第1回とし、今後一定の年度ごとに実施する予定で、経年変化の推移を見守りながら、学生生活委員会において状況を把握し、その都度、集計結果をまとめる計画とする。

2) 調査対象

平成19年度本協会加盟の373短期大学のうち、平成19年度「新設」校および「学生募集停止」校を除く361短期大学の本科学生とし、1短期大学あたり1年生50名、2年生50名 計100名を基本として実施。

共学の短期大学には、なるべく1・2学年とも25名は、男子学生を対象として実施されるようお願いした。

3) 調査方法

郵送法。事務局より、予め各短期大学学長あてに調査の依頼をお願いし、後日、直接学生生活関係部署・担当教職員あてに1・2年生の各調査紙50枚ずつ、計100枚を送付。調査紙は1枚の両面刷りで、直接調査紙に回答を記入し、返送を依頼。

4) 調査時期

平成19年11月16日～12月31日

5) 回答校・回答者数

334短期大学・32,537名 (回答校率 92.5%)

6) 有効(集計)回答者数

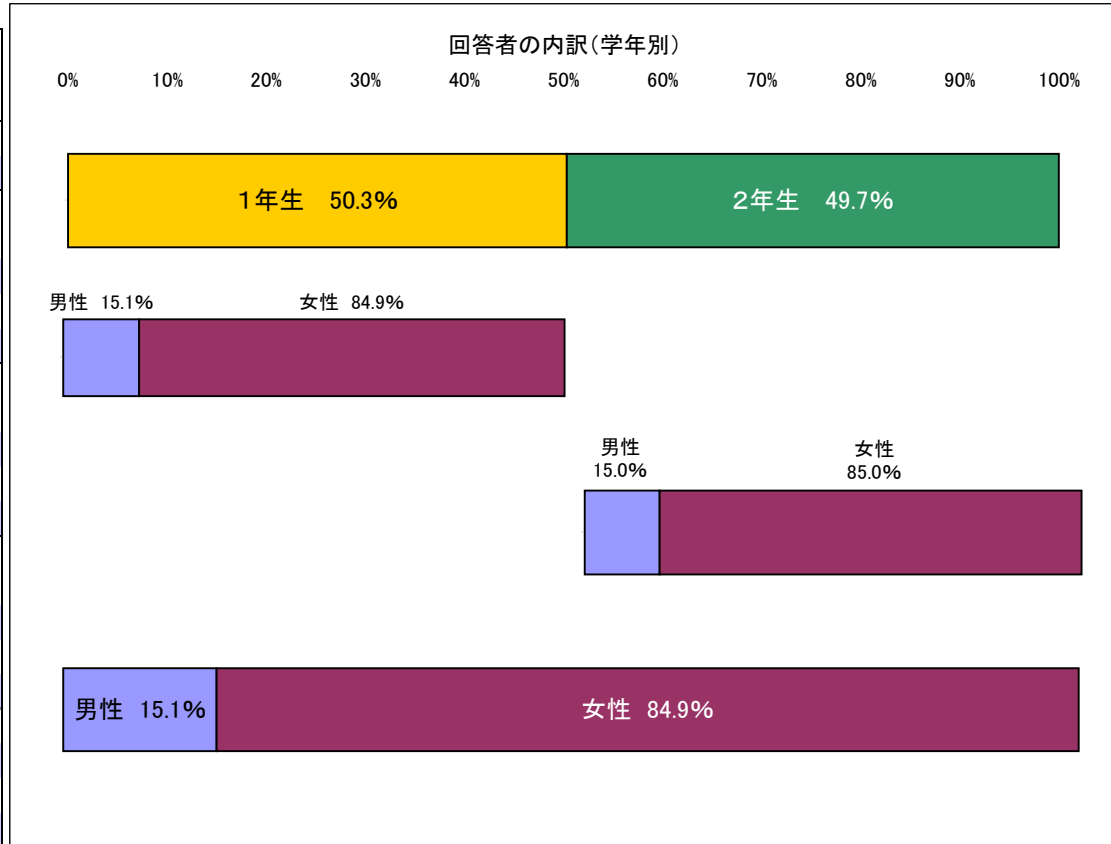
32,371名 (1年生:16,286名 2年生:16,085名 / うち男子学生 1年生:2,467名 2年生:2,419名)

※実態を正確に把握ため、男女の記載がなかった166名の回答は、有効数から除外して集計。

【学生生活に関する調査】集計結果

(N, %) 表 1

学年・性別	1年	2年	合計
【総数】	16286	16085	32371
全体 (%)	50.3	49.7	100.0
【学年別】			
1年生	16286	0	16286
1年生 (%)	100.0	0.0	100.0
2年生	0	16085	16085
2年生 (%)	0.0	100.0	100.0
【性別】			
男性	2467	2419	4886
男性 (%)	50.5	49.5	100.0
女性	13819	13666	27485
女性 (%)	50.3	49.7	100.0
【学年×性別】			
1年生・男性	2467	0	2467
1年生・男性 (%)	100.0	0.0	100.0
1年生・女性	13819	0	13819
1年生・女性 (%)	100.0	0.0	100.0
2年生・男性	0	2419	2419
2年生・男性 (%)	0.0	100.0	100.0
2年生・女性	0	13666	13666
2年生・女性 (%)	0.0	100.0	100.0



今回の調査の集計回答数は、1年生の男女、2年生の男女の合わせて、3万2371名である。

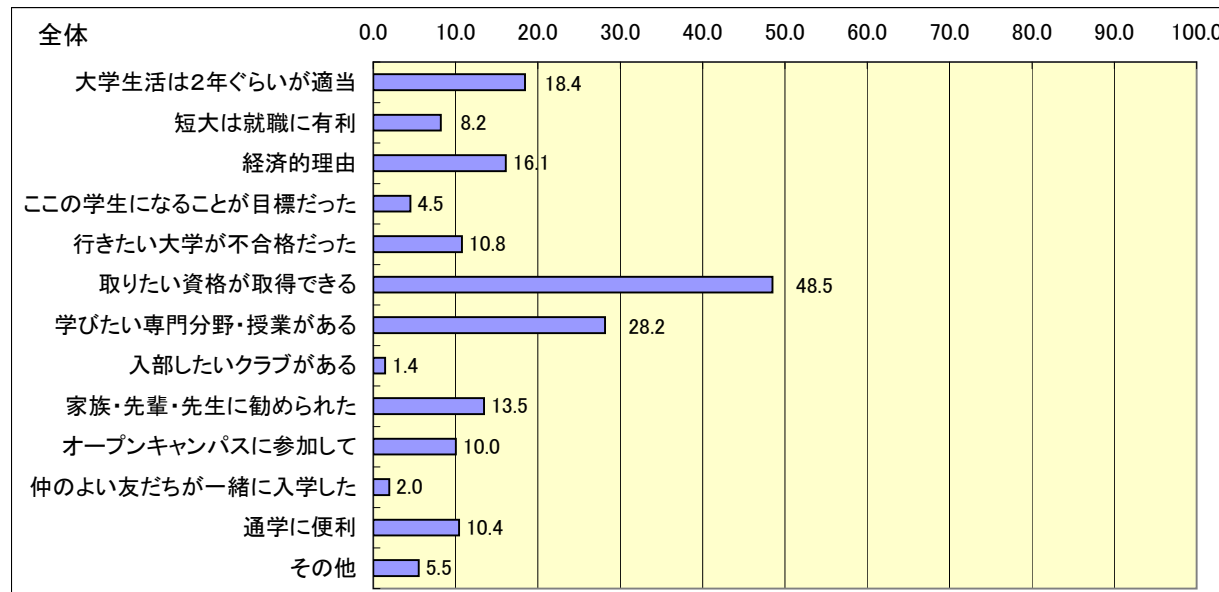
そのうち、1年生と2年生の割合は、共に1万6千余名で、ほぼ1:1である。

また男子の割合は、各学年とも、15%となっている。

問1. 短期大学に進学した理由は何ですか。(2つまで)

(N,%) 表 3

	大学生生活は2年ぐらいが適当	短大は就職に有利	経済的理由	この学生になることが目標だった	行きたい大学が不合格だった	取りたい資格が取得できる	学びたい専門分野・授業がある	入部したいクラブがある	家族・先輩・先生に勧められた	オープンキャンパスに参加して	仲のよい友だちと一緒に入学した	通学に便利	その他	有効回答
【総数】	5902	2631	5156	1449	3457	15542	9022	456	4315	3212	628	3340	1768	32049
全体 (%)	18.4	8.2	16.1	4.5	10.8	48.5	28.2	1.4	13.5	10.0	2.0	10.4	5.5	100.0
【学年別】														
1年生	3060	1345	2723	790	1668	7801	4520	226	2107	1717	316	1692	841	16141
1年生 (%)	19.0	8.3	16.9	4.9	10.3	48.3	28.0	1.4	13.1	10.6	2.0	10.5	5.2	100.0
2年生	2842	1286	2433	659	1789	7741	4502	230	2208	1495	312	1648	927	15908
2年生 (%)	17.9	8.1	15.3	4.1	11.2	48.7	28.3	1.4	13.9	9.4	2.0	10.4	5.8	100.0
【性別】														
男性	709	372	715	192	632	2224	1418	98	759	381	101	459	360	4843
男性 (%)	14.6	7.7	14.8	4.0	13.0	45.9	29.3	2.0	15.7	7.9	2.1	9.5	7.4	100.0
女性	5193	2259	4441	1257	2825	13318	7604	358	3556	2831	527	2881	1408	27206
女性 (%)	19.1	8.3	16.3	4.6	10.4	49.0	27.9	1.3	13.1	10.4	1.9	10.6	5.2	100.0
【学年×性別】														
1年生・男性	376	191	354	97	290	1161	714	49	372	199	57	252	170	2443
1年生・男性 (%)	15.4	7.8	14.5	4.0	11.9	47.5	29.2	2.0	15.2	8.1	2.3	10.3	7.0	100.0
1年生・女性	2684	1154	2369	693	1378	6640	3806	177	1735	1518	259	1440	671	13698
1年生・女性 (%)	19.6	8.4	17.3	5.1	10.1	48.5	27.8	1.3	12.7	11.1	1.9	10.5	4.9	100.0
2年生・男性	333	181	361	95	342	1063	704	49	387	182	44	207	190	2400
2年生・男性 (%)	13.9	7.5	15.0	4.0	14.3	44.3	29.3	2.0	16.1	7.6	1.8	8.6	7.9	100.0
2年生・女性	2509	1105	2072	564	1447	6678	3798	181	1821	1313	268	1441	737	13508
2年生・女性 (%)	18.6	8.2	15.3	4.2	10.7	49.4	28.1	1.3	13.5	9.7	2.0	10.7	5.5	100.0



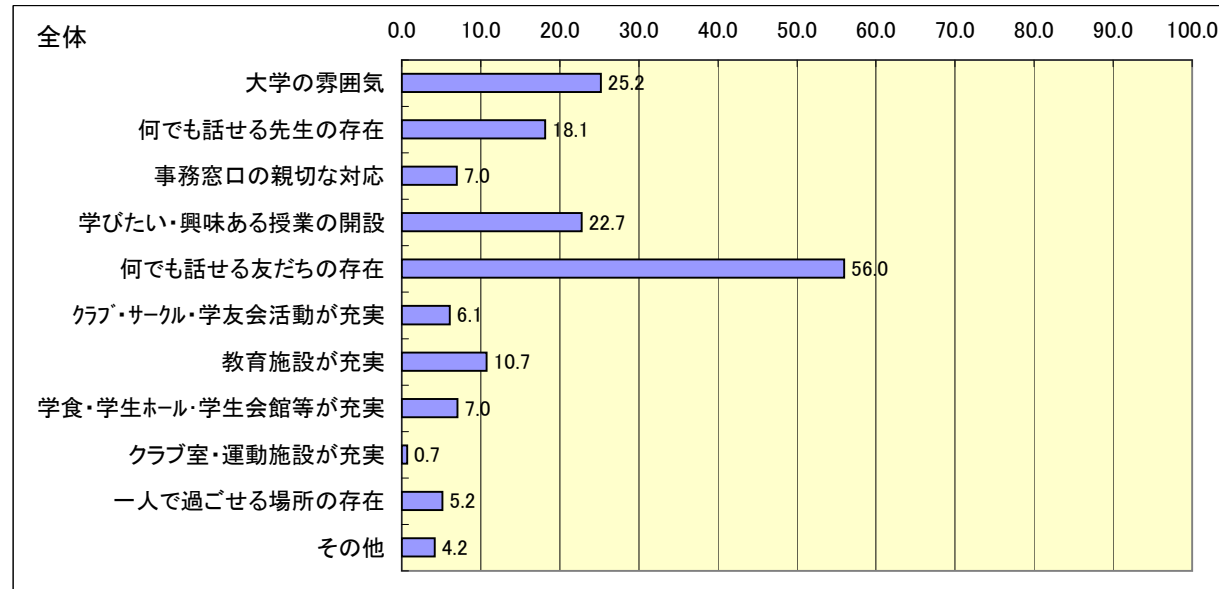
短期大学に進学した理由については、学年・性別に関わらず、「取りたい資格が取得できる」が48.5%と最も多く、自分の将来を見据え、目的意識を持って短期大学に入学してきたことが伺える。次いで「学びたい専門分野・授業がある」28.2%で、短期大学では何を学びたいのかが明確であると知られる。

一方で「短大は就職に有利」にはわずか8.2%と一割にも満たない。

問2. 学生生活のどのようなところに満足していますか。(2つまで)

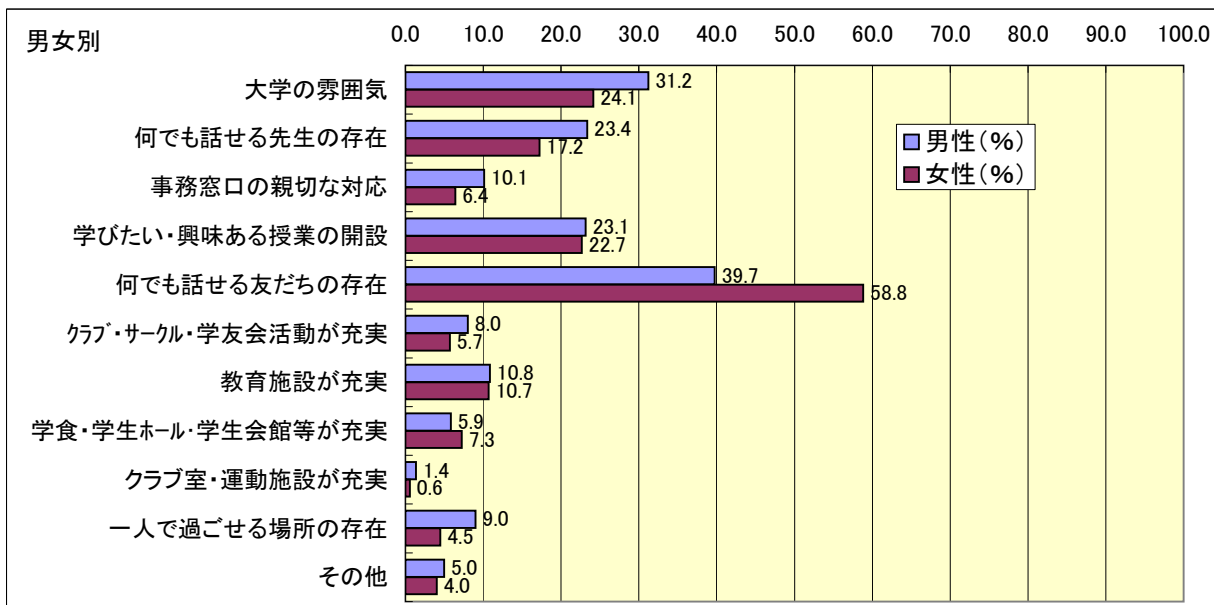
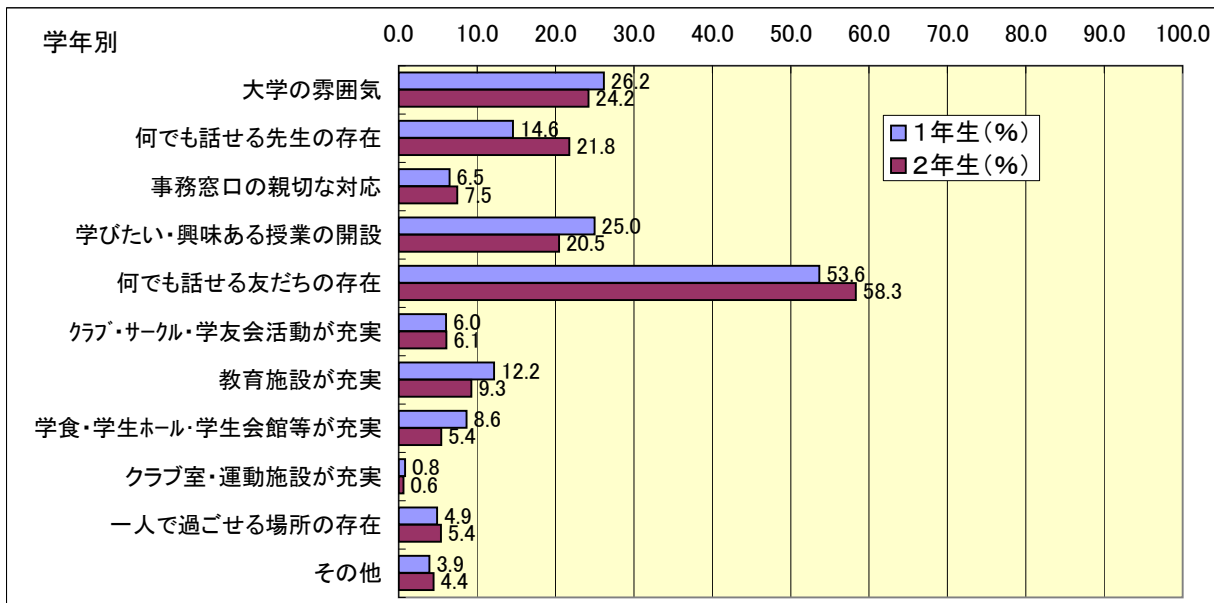
(N.%) 表 4

	大学の雰囲気	何でも話せる先生の存在	事務窓口の親切な対応	学びたい・興味ある授業の開設	何でも話せる友だちの存在	クラブ・サークル・学友会活動が充実	教育施設が充実	学食・学生ホール・学生会館等が充実	クラブ室・運動施設が充実	一人で過ごせる場所の存在	その他	有効回答
【総数】	7880	5677	2181	7115	17506	1899	3356	2205	219	1613	1304	31282
全体 (%)	25.2	18.1	7.0	22.7	56.0	6.1	10.7	7.0	0.7	5.2	4.2	100.0
【学年別】												
1年生	4114	2291	1018	3929	8434	950	1915	1360	126	772	614	15723
1年生 (%)	26.2	14.6	6.5	25.0	53.6	6.0	12.2	8.6	0.8	4.9	3.9	100.0
2年生	3766	3386	1163	3186	9072	949	1441	845	93	841	690	15559
2年生 (%)	24.2	21.8	7.5	20.5	58.3	6.1	9.3	5.4	0.6	5.4	4.4	100.0
【性別】												
男性	1459	1093	473	1082	1858	375	507	274	64	421	232	4676
男性 (%)	31.2	23.4	10.1	23.1	39.7	8.0	10.8	5.9	1.4	9.0	5.0	100.0
女性	6421	4584	1708	6033	15648	1524	2849	1931	155	1192	1072	26606
女性 (%)	24.1	17.2	6.4	22.7	58.8	5.7	10.7	7.3	0.6	4.5	4.0	100.0
【学年×性別】												
1年生・男性	760	471	233	596	901	189	273	157	32	202	117	2361
1年生・男性 (%)	32.2	19.9	9.9	25.2	38.2	8.0	11.6	6.6	1.4	8.6	5.0	100.0
1年生・女性	3354	1820	785	3333	7533	761	1642	1203	94	570	497	13362
1年生・女性 (%)	25.1	13.6	5.9	24.9	56.4	5.7	12.3	9.0	0.7	4.3	3.7	100.0
2年生・男性	699	622	240	486	957	186	234	117	32	219	115	2315
2年生・男性 (%)	30.2	26.9	10.4	21.0	41.3	8.0	10.1	5.1	1.4	9.5	5.0	100.0
2年生・女性	3067	2764	923	2700	8115	763	1207	728	61	622	575	13244
2年生・女性 (%)	23.2	20.9	7.0	20.4	61.3	5.8	9.1	5.5	0.5	4.7	4.3	100.0



学生生活のどのようなところに満足しているかとの質問に、「何でも話せる友だちの存在」が58.3%と最も高い割合を示している。男女ともに1位に挙げているものの、その割合は女子のほうが男子よりもはるかに高い。仲間づくりが学生生活の満足度のポイントにつながっている。ただ、その場として考えられる「クラブ・サークル・学友会活動が充実」を挙げた学生が、6.1%と殊のほか低いことには、学生支援の重要な課題として取り組む必要があるのではないかと感じる。

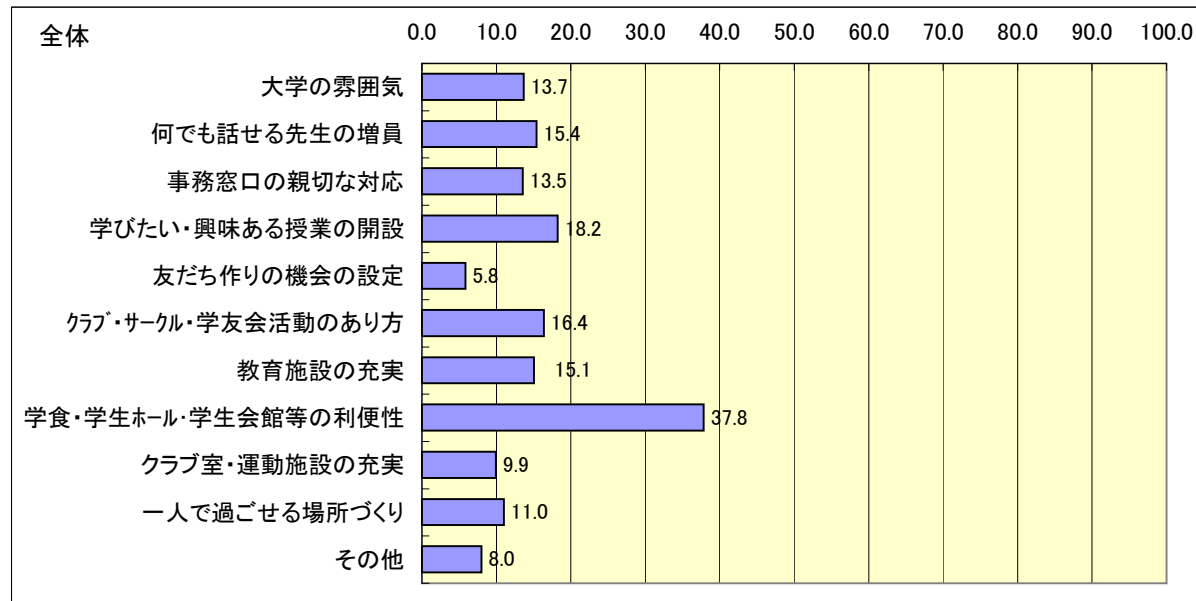
次いで、25.2%の学生が「大学の雰囲気」を挙げている。『雰囲気』とは、学生個人が肌で感じるもので、抽象的な表現ではあるが、学生が感じとる大学の空気が満足度の尺度ともなっていることは見逃すことができないと思われる。



問3. 学生生活の中で改善して欲しいことは何ですか。(2つまで)

(N.%) 表 5

	大学の雰囲気	何でも話せる先生の増員	事務窓口の親切な対応	学びたい・興味ある授業の開設	友だち作りの機会の設定	クラブ・サークル・学友会活動のあり方	教育施設の充実	学食・学生ホール・学生会館等の利便性	クラブ室・運動施設の充実	一人で過ごせる場所づくり	その他	有効回答
【総数】	4221	4752	4180	5625	1806	5055	4650	11687	3063	3400	2472	30882
全体 (%)	13.7	15.4	13.5	18.2	5.8	16.4	15.1	37.8	9.9	11.0	8.0	100.0
【学年別】												
1年生	2178	2571	1720	2914	1026	2727	2150	5642	1513	1779	1285	15556
1年生 (%)	14.0	16.5	11.1	18.7	6.6	17.5	13.8	36.3	9.7	11.4	8.3	100.0
2年生	2043	2181	2460	2711	780	2328	2500	6045	1550	1621	1187	15326
2年生 (%)	13.3	14.2	16.1	17.7	5.1	15.2	16.3	39.4	10.1	10.6	7.7	100.0
【性別】												
男性	798	578	466	871	385	771	626	1509	822	685	391	4682
男性 (%)	17.0	12.3	10.0	18.6	8.2	16.5	13.4	32.2	17.6	14.6	8.4	100.0
女性	3423	4174	3714	4754	1421	4284	4024	10178	2241	2715	2081	26200
女性 (%)	13.1	15.9	14.2	18.1	5.4	16.4	15.4	38.8	8.6	10.4	7.9	100.0
【学年×性別】												
1年生・男性	388	308	158	454	210	410	314	763	417	367	179	2363
1年生・男性 (%)	16.4	13.0	6.7	19.2	8.9	17.4	13.3	32.3	17.6	15.5	7.6	100.0
1年生・女性	1790	2263	1562	2460	816	2317	1836	4879	1096	1412	1106	13193
1年生・女性 (%)	13.6	17.2	11.8	18.6	6.2	17.6	13.9	37.0	8.3	10.7	8.4	100.0
2年生・男性	410	270	308	417	175	361	312	746	405	318	212	2319
2年生・男性 (%)	17.7	11.6	13.3	18.0	7.5	15.6	13.5	32.2	17.5	13.7	9.1	100.0
2年生・女性	1633	1911	2152	2294	605	1967	2188	5299	1145	1303	975	13007
2年生・女性 (%)	12.6	14.7	16.5	17.6	4.7	15.1	16.8	40.7	8.8	10.0	7.5	100.0



学生生活の中で、最も改善してほしい項目として、「学食・学生ホール・学生会館などの利便性」を37.8%の学生が挙げている。学生にとって、一日の大半を過ごす生活の場と捉えれば、一般的に福利厚生施設（学食・学生会館・サークル室など）の充実への要求が高くなるのは当然のことかもしれない。また、問2における学生生活の満足度として「何でも話せる友達の存在」（56.0%）、さらに問8の授業以外で時間をかけているものは「友人との交流」（44.1%）との回答からも、基本的に学校は「仲間と出会える場」であり、さらに「親交を深める場」という魅力が根本にある。学生が望む友人と過ごす施設設備の充実は欠かせないと思われる。

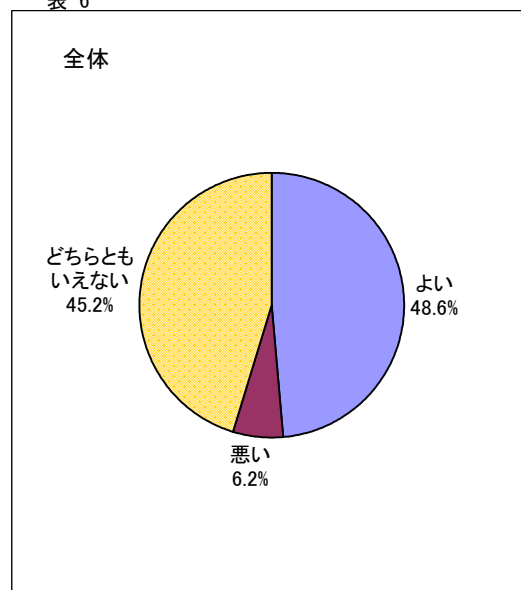
全体的な傾向として、「学食・学生ホール・学生会館などの利便性」以外は、大きな差はなく、改善して欲しい内容が多岐に分散しているように思える。

なお、「一人で過ごせる場所」を望む学生が、一割を超えて存在するという点には注目しておきたい。

問4. 貴学は居心地がよいですか。(1つ)

		(N.%)			
		よい	悪い	どちらとも いえない	有効回答
【総数】		13804	1750	12829	28383
全体 (%)		48.6	6.2	45.2	100.0
【学年別】					
1年生		6735	846	6744	14325
	1年生 (%)	47.0	5.9	47.1	100.0
2年生		7069	904	6085	14058
	2年生 (%)	50.3	6.4	43.3	100.0
【性別】					
男性		1989	408	1939	4336
	男性 (%)	45.9	9.4	44.7	100.0
女性		11815	1342	10890	24047
	女性 (%)	49.1	5.6	45.3	100.0
【学年×性別】					
1年生・男性		997	203	997	2197
	1年生・男性 (%)	45.4	9.2	45.4	100.0
1年生・女性		5738	643	5747	12128
	1年生・女性 (%)	47.3	5.3	47.4	100.0
2年生・男性		992	205	942	2139
	2年生・男性 (%)	46.4	9.6	44.0	100.0
2年生・女性		6077	699	5143	11919
	2年生・女性 (%)	51.0	5.9	43.1	100.0

表 6

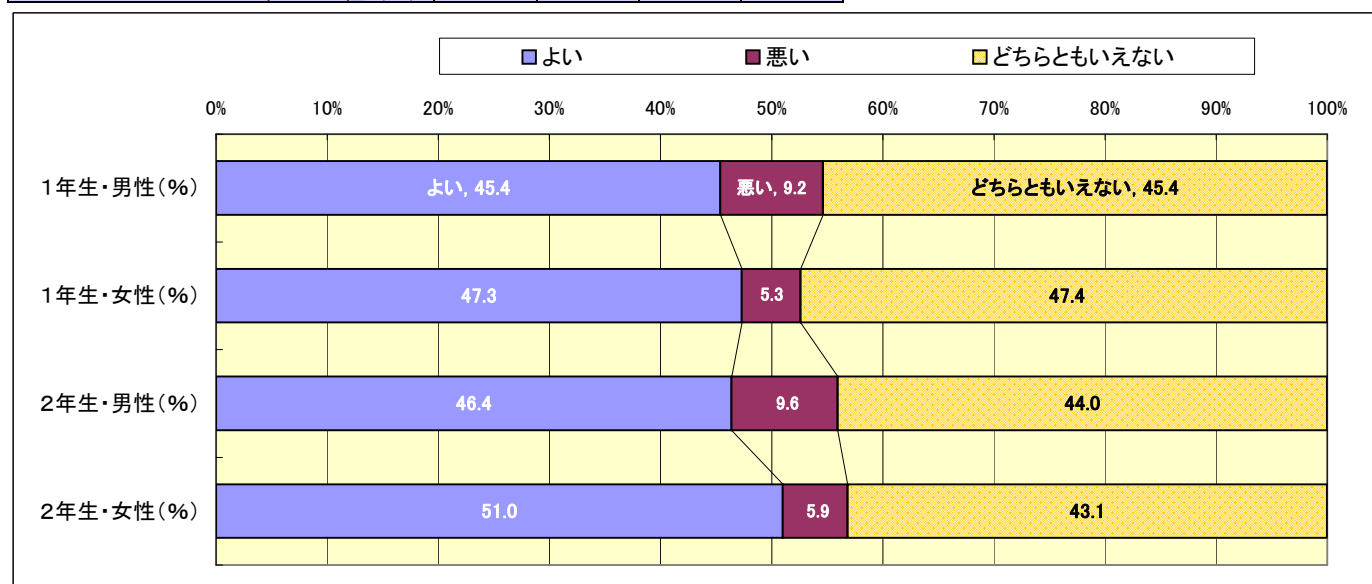


この設問は、質問の仕方が唐突で、漠然としていると感じるかもしれない。何を指して「居心地がよい」と判断するのかわからないと感じた学生が「どちらともいえない」と回答していると思われる。

ただ、理屈ではなく、大学にいる時の心もちがよいと感じること、すなわち友人と一緒に楽しさを共有できる、自分のやりたいことが叶えられるなど、学生の欲求が満たされる環境であれば、「居心地がよい」と感じられるであろう。

男女ともに学年が進むにつれ、「どちらともいえない」との回答から、「居心地がよい」と感じる割合が高くなっている。

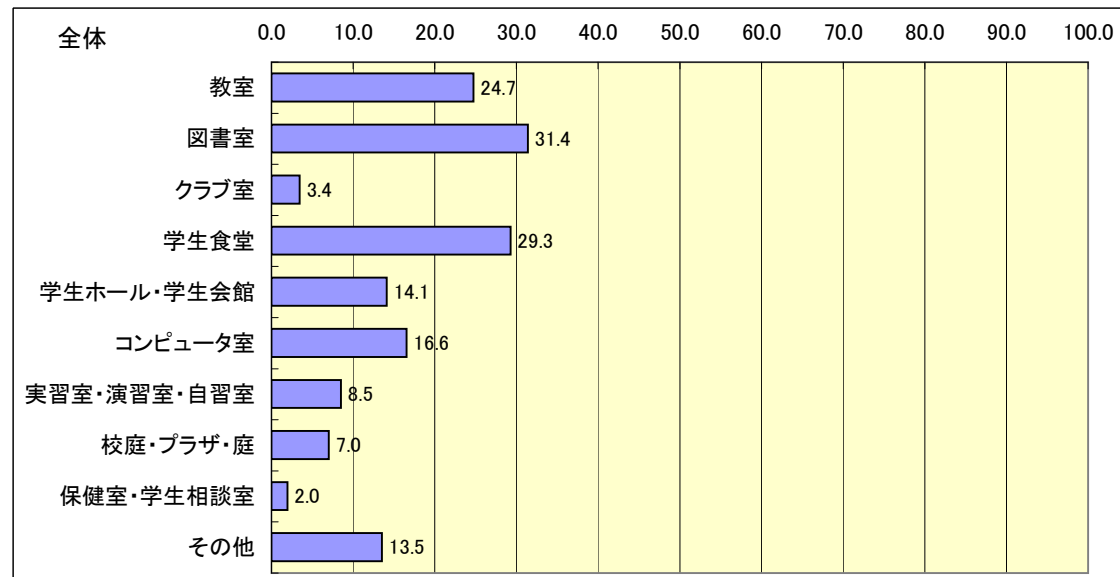
何をもって「居心地がよい」と感じるのか、各短期大学で直に学生に尋ねてみるのも、学生が求める支援のあり方を確認できる手がかりになるかもしれない。そうすれば、「どちらともいえない」と回答している数字が「良い」に移行し、学生のキャンパスライフに対する満足度につながると思われる。



問5. キャンパスの中で、あなたのお気に入りの場所はどこですか。(2つまで)

(N.%) 表7

	教室	図書室	クラブ室	学生食堂	学生ホール・学生会館	コンピュータ室	実習室・演習室・自習室	校庭・プラザ・庭	保健室・学生相談室	その他	有効回答
【総数】	7734	9817	1075	9155	4419	5178	2666	2189	611	4235	31280
全体 (%)	24.7	31.4	3.4	29.3	14.1	16.6	8.5	7.0	2.0	13.5	100.0
【学年別】											
1年生	3898	4988	471	4923	2258	2432	1335	1128	299	1903	15733
1年生 (%)	24.8	31.7	3.0	31.3	14.4	15.5	8.5	7.2	1.9	12.1	100.0
2年生	3836	4829	604	4232	2161	2746	1331	1061	312	2332	15547
2年生 (%)	24.7	31.1	3.9	27.2	13.9	17.7	8.6	6.8	2.0	15.0	100.0
【性別】											
男性	1002	1314	286	1080	613	825	512	570	102	867	4693
男性 (%)	21.4	28.0	6.1	23.0	13.1	17.6	10.9	12.1	2.2	18.5	100.0
女性	6732	8503	789	8075	3806	4353	2154	1619	509	3368	26587
女性 (%)	25.3	32.0	3.0	30.4	14.3	16.4	8.1	6.1	1.9	12.7	100.0
【学年×性別】											
1年生・男性	521	640	138	550	313	425	265	299	54	401	2374
1年生・男性 (%)	21.9	27.0	5.8	23.2	13.2	17.9	11.2	12.6	2.3	16.9	100.0
1年生・女性	3377	4348	333	4373	1945	2007	1070	829	245	1502	13359
1年生・女性 (%)	25.3	32.5	2.5	32.7	14.6	15.0	8.0	6.2	1.8	11.2	100.0
2年生・男性	481	674	148	530	300	400	247	271	48	466	2319
2年生・男性 (%)	20.7	29.1	6.4	22.9	12.9	17.2	10.7	11.7	2.1	20.1	100.0
2年生・女性	3355	4155	456	3702	1861	2346	1084	790	264	1866	13228
2年生・女性 (%)	25.4	31.4	3.4	28.0	14.1	17.7	8.2	6.0	2.0	14.1	100.0



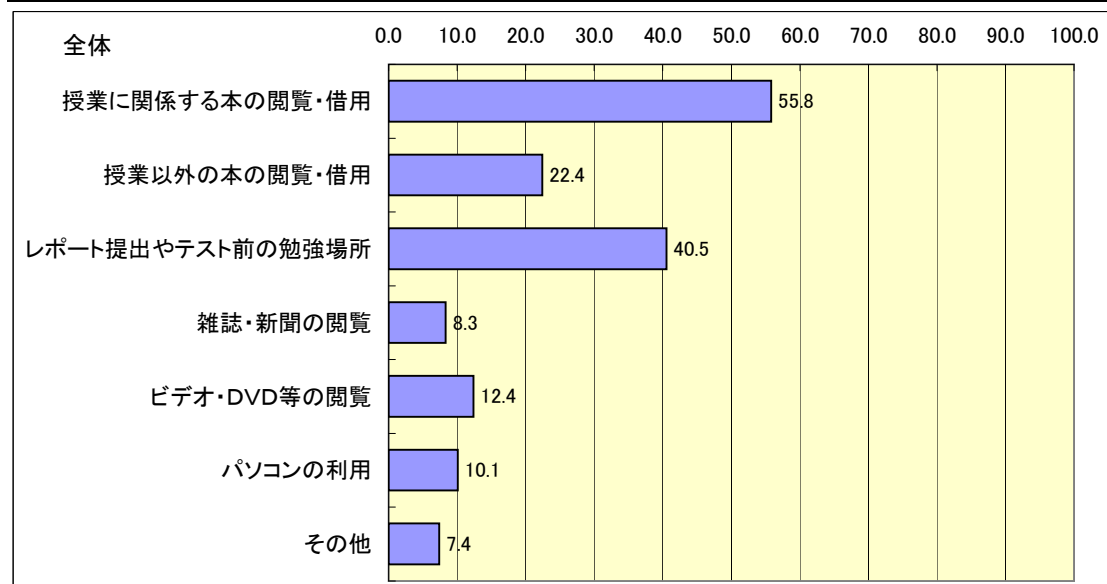
キャンパス内でのお気に入りの場所は、学年・性別に関わらず、1位が「図書室」、2位が「学生食堂」とほとんど同じ割合でこの2つの場所を選んでいる。「図書室」は、誰にも邪魔されない自分だけの空間であり、自分が興味ある分野の資料や最新情報に触れられることから一人で過ごすお気に入りの場所、また、「学生食堂」は、食事をしながら気の合う友人たちとの語らいを楽しむお気に入りの場所、というように状況に応じて使い分けているのかもしれない。一人の時でも、友人と一緒にいる時でも、気兼ねせず過ごせるお気に入りの場所があるということは、居心地のよさにつながってくると思われる。

回答の中で「保健室・学生相談室」を挙げた学生は、最も少なく2%に過ぎないが、心身の健康に自信が持てない学生の存在は、割合の高低にかかわらず、見過ごすことはできない。

問6. 図書館を主にどのように利用していますか。(2つまで)

(N.%) 表 8

	授業に 関係する本 の閲覧・ 借用	授業以外 の本の閲覧 ・借用	レポート 提出やテ スト前の 勉強場所	雑誌・新 聞の閲覧	ビデオ・ DVD等 の閲覧	パソコ ンの利用	その他	有効回答
【総数】	17428	7005	12664	2593	3860	3153	2298	31236
全体 (%)	55.8	22.4	40.5	8.3	12.4	10.1	7.4	100.0
【学年別】								
1年生	8445	3457	6142	1323	2034	1472	1211	15633
1年生 (%)	54.0	22.1	39.3	8.5	13.0	9.4	7.7	100.0
2年生	8983	3548	6522	1270	1826	1681	1087	15603
2年生 (%)	57.6	22.7	41.8	8.1	11.7	10.8	7.0	100.0
【性別】								
男性	1958	1124	1958	501	527	656	484	4631
男性 (%)	42.3	24.3	42.3	10.8	11.4	14.2	10.5	100.0
女性	15470	5881	10706	2092	3333	2497	1814	26605
女性 (%)	58.1	22.1	40.2	7.9	12.5	9.4	6.8	100.0
【学年×性別】								
1年生・男性	999	558	955	252	273	305	242	2322
1年生・男性 (%)	43.0	24.0	41.1	10.9	11.8	13.1	10.4	100.0
1年生・女性	7446	2899	5187	1071	1761	1167	969	13311
1年生・女性 (%)	55.9	21.8	39.0	8.0	13.2	8.8	7.3	100.0
2年生・男性	959	566	1003	249	254	351	242	2309
2年生・男性 (%)	41.5	24.5	43.4	10.8	11.0	15.2	10.5	100.0
2年生・女性	8024	2982	5519	1021	1572	1330	845	13294
2年生・女性 (%)	60.4	22.4	41.5	7.7	11.8	10.0	6.4	100.0



問5で「お気に入りの場所」として1位に「図書室」が選ばれたことから、図書館をどのように利用しているのか関心を寄せたが、半数以上の学生が「授業に關係する本の閲覧・借用」(55.8%)と回答し、次いで「レポート提出やテスト前の勉強場所」(40.5%)であった。図書館設置の趣旨から考えれば当然ではあろう。欲を言えば、大学時代に出来るだけたくさんの本を読んで、幅広い教養を身に付けて欲しいが、現代学生の活字離れが危惧されているように、「授業以外の本の閲覧・借用」は3番目に挙げられているものの、あまり高い割合とはいえない。

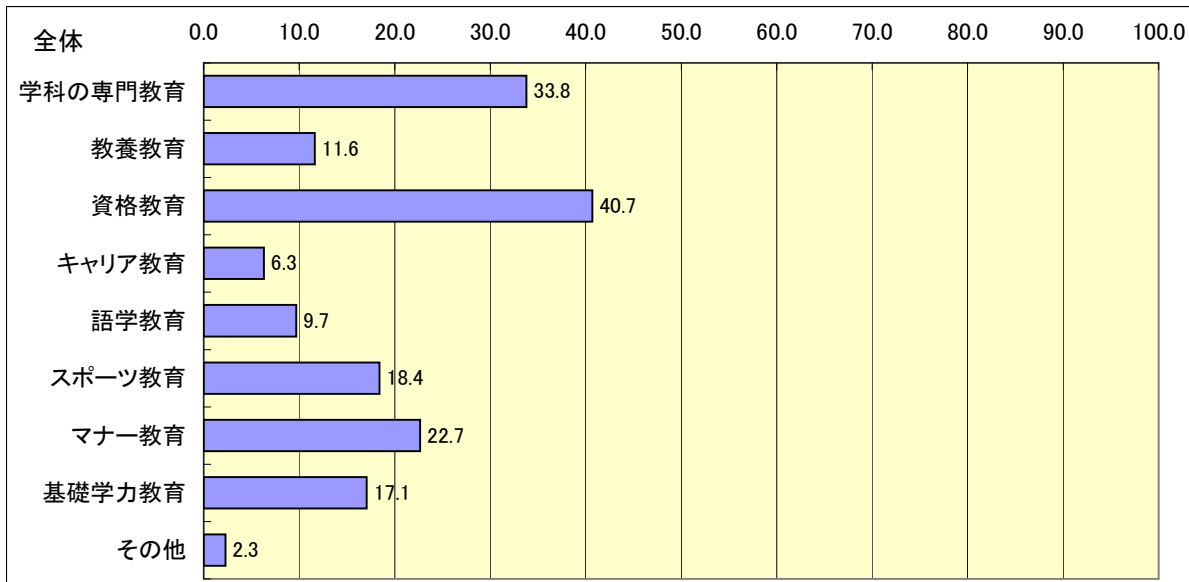
近年の図書館は、従来のサービスに加え、パソコンを多く配備し、インターネット・ビデオ・DVD・雑誌・新聞など利用者の幅広いニーズに応えられる多様な情報収集基地としての機能を併せ持つところが多いことから、そのために図書館を利用しているのではないかと予測したが、授業やレポートに關係する本の閲覧や勉強場所として利用し、「お気に入りの場所」として1位に選ばれるということは、短大生が資格取得や過密したカリキュラムをこなしていくために、図書館で過ごす時間が多く、その存在が必要不可欠となっているとも伺える。

学生にとって居心地のよいお気に入りの場所として、常に利用者の要求を把握し、期待に応えられる体制での図書館の充実が望まれる。

問7. 短大教育の中で、より充実してほしいものは何ですか。(2つまで)

(N.%) 表9

	学科の専門教育	教養教育	資格教育	キャリア教育	語学教育	スポーツ教育	マナー教育	基礎学力教育	その他	有効回答
【総数】	10602	3648	12770	1980	3037	5778	7111	5353	714	31385
全体 (%)	33.8	11.6	40.7	6.3	9.7	18.4	22.7	17.1	2.3	100.0
【学年別】										
1年生	5071	1769	6796	994	1489	3015	3432	2683	342	15768
1年生 (%)	32.2	11.2	43.1	6.3	9.4	19.1	21.8	17.0	2.2	100.0
2年生	5531	1879	5974	986	1548	2763	3679	2670	372	15617
2年生 (%)	35.4	12.0	38.3	6.3	9.9	17.7	23.6	17.1	2.4	100.0
【性別】										
男性	1486	556	1696	255	362	1554	1012	855	120	4732
男性 (%)	31.4	11.7	35.8	5.4	7.7	32.8	21.4	18.1	2.5	100.0
女性	9116	3092	11074	1725	2675	4224	6099	4498	594	26653
女性 (%)	34.2	11.6	41.5	6.5	10.0	15.8	22.9	16.9	2.2	100.0
【学年×性別】										
1年生・男性	743	281	879	133	181	797	475	428	56	2384
1年生・男性 (%)	31.2	11.8	36.9	5.6	7.6	33.4	19.9	18.0	2.3	100.0
1年生・女性	4328	1488	5917	861	1308	2218	2957	2255	286	13384
1年生・女性 (%)	32.3	11.1	44.2	6.4	9.8	16.6	22.1	16.8	2.1	100.0
2年生・男性	743	275	817	122	181	757	537	427	64	2348
2年生・男性 (%)	31.6	11.7	34.8	5.2	7.7	32.2	22.9	18.2	2.7	100.0
2年生・女性	4788	1604	5157	864	1367	2006	3142	2243	308	13269
2年生・女性 (%)	36.1	12.1	38.9	6.5	10.3	15.1	23.7	16.9	2.3	100.0

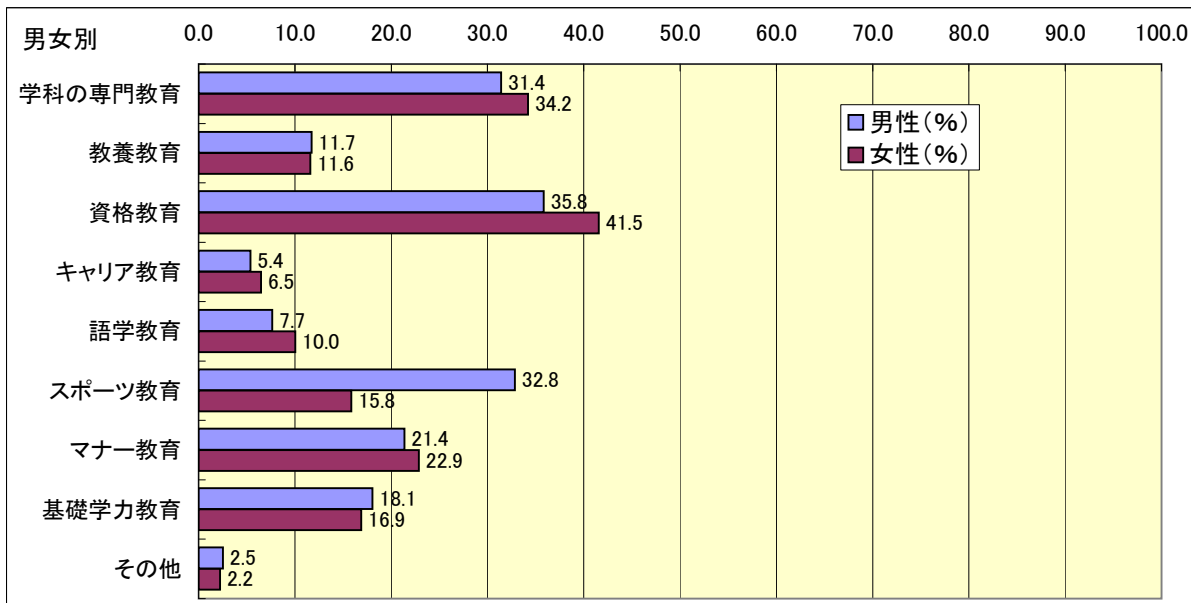
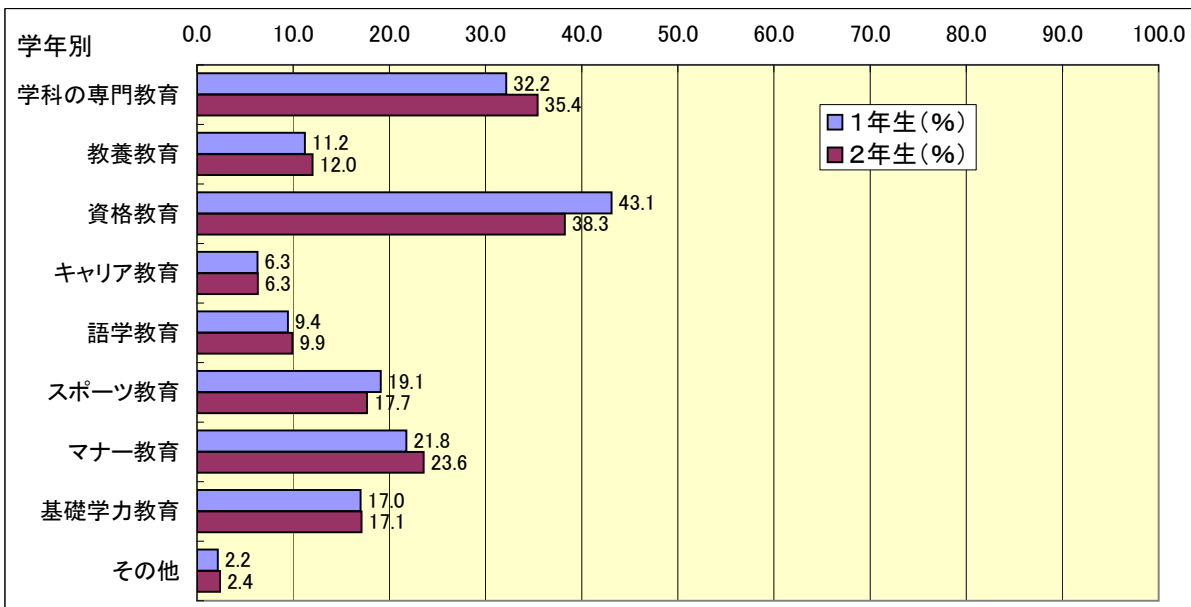


短大教育の中でより充実して欲しい内容として、約4割の学生が「資格教育」を挙げている。将来(就職)に役立つ資格を取得したいという資格志向は、2年生よりも1年生の方が強く、男子よりも女子の方が強い。次いで「学科の専門教育」(33.8%)が挙げられた。この二つは、多くの短期大学が力をいれていると考えられるが、学生もさらなる充実を期待していることが読み取れる。

一方、専門教育や資格取得のための学問以外に、学生は「マナー教育」、「スポーツ教育」「基礎学力教育」等の充実を望んでいる。卒業後、社会人となる学生が多い中、一般常識、マナー、基礎学力などの欠如を学生自身も感じとっているといえよう。今後、短期大学教育の中でこれらの充実を望む学生の要望を大学側がどのように受け止め、対応していくかは、今後の短期大学教育のあり方を示唆しているともいえるのではないだろうか。

気になることに、「キャリア教育」の充実への期待は6.3%と予想以上に低い。キャリア教育の内容が学生に浸透していないとも受け取れる結果に課題が残る。

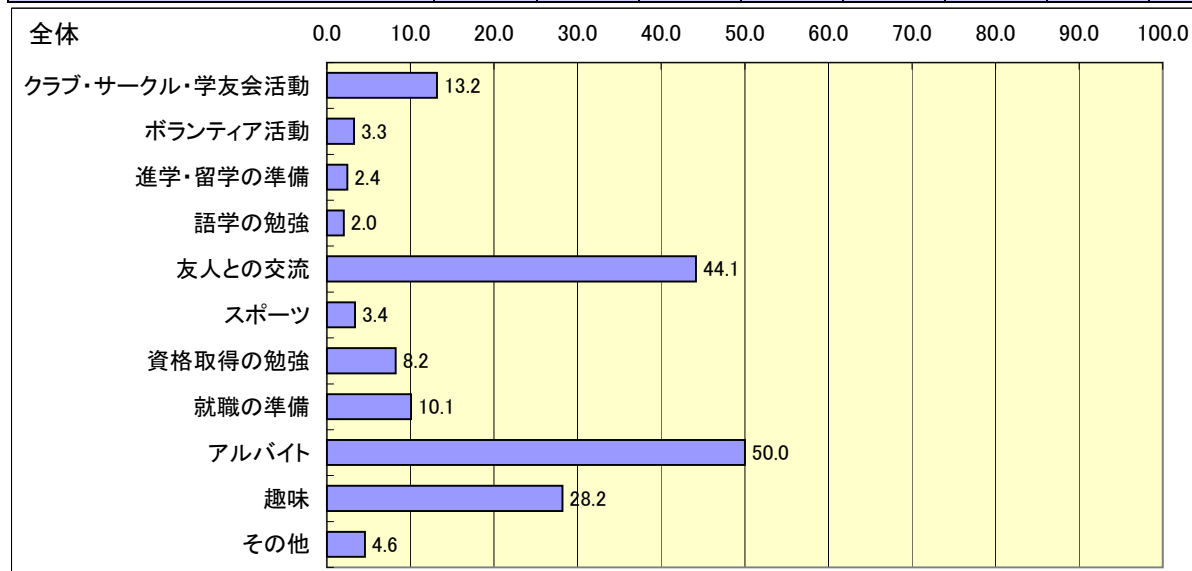
また、「スポーツ教育」の充実を望む割合は、女子よりも男子の方がはるかに高く、約2倍となっている。



問8. 今、授業以外で時間をかけているものは何ですか。(2つまで)

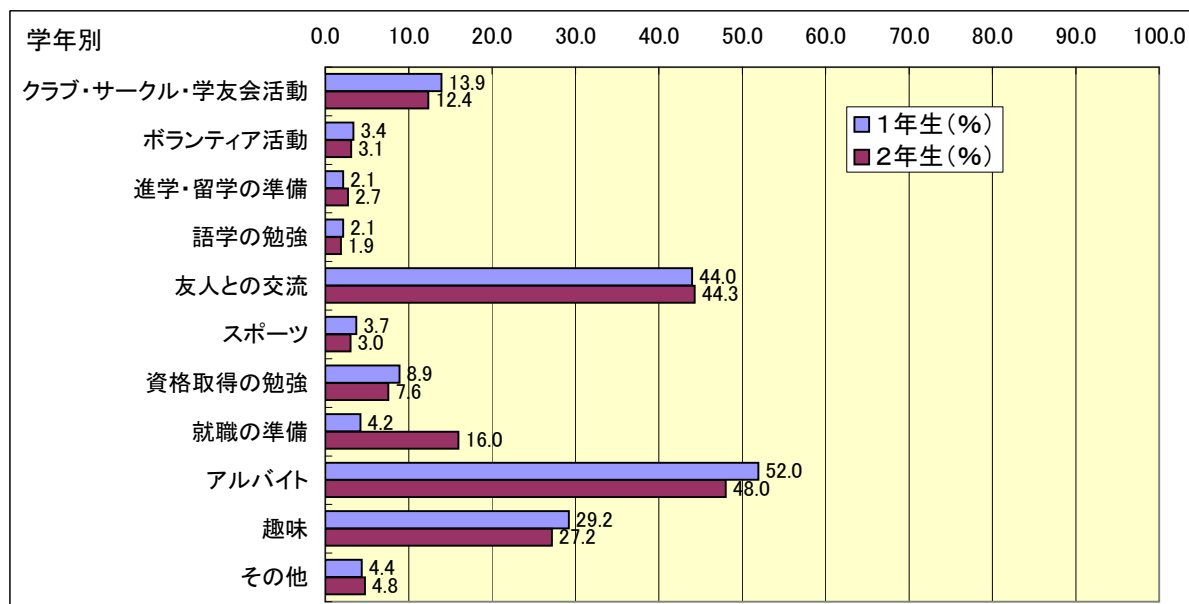
(N.%) 表 10

	クラブ・サークル・学友会活動	ボランティア活動	進学・留学の準備	語学の勉強	友人との交流	スポーツ	資格取得の勉強	就職の準備	アルバイト	趣味	その他	有効回答
【総数】	4189	1035	776	643	14054	1079	2621	3204	15918	8978	1454	31834
全体 (%)	13.2	3.3	2.4	2.0	44.1	3.4	8.2	10.1	50.0	28.2	4.6	100.0
【学年別】												
1年生	2232	542	344	343	7041	597	1424	675	8317	4676	698	16008
1年生 (%)	13.9	3.4	2.1	2.1	44.0	3.7	8.9	4.2	52.0	29.2	4.4	100.0
2年生	1957	493	432	300	7013	482	1197	2529	7601	4302	756	15826
2年生 (%)	12.4	3.1	2.7	1.9	44.3	3.0	7.6	16.0	48.0	27.2	4.8	100.0
【性別】												
男性	824	208	190	116	1602	489	438	374	1960	1802	215	4771
男性 (%)	17.3	4.4	4.0	2.4	33.6	10.2	9.2	7.8	41.1	37.8	4.5	100.0
女性	3365	827	586	527	12452	590	2183	2830	13958	7176	1239	27063
女性 (%)	12.4	3.1	2.2	1.9	46.0	2.2	8.1	10.5	51.6	26.5	4.6	100.0
【学年×性別】												
1年生・男性	430	99	80	68	808	276	211	111	1064	904	101	2416
1年生・男性 (%)	17.8	4.1	3.3	2.8	33.4	11.4	8.7	4.6	44.0	37.4	4.2	100.0
1年生・女性	1802	443	264	275	6233	321	1213	564	7253	3772	597	13592
1年生・女性 (%)	13.3	3.3	1.9	2.0	45.9	2.4	8.9	4.1	53.4	27.8	4.4	100.0
2年生・男性	394	109	110	48	794	213	227	263	896	898	114	2355
2年生・男性 (%)	16.7	4.6	4.7	2.0	33.7	9.0	9.6	11.2	38.0	38.1	4.8	100.0
2年生・女性	1563	384	322	252	6219	269	970	2266	6705	3404	642	13471
2年生・女性 (%)	11.6	2.9	2.4	1.9	46.2	2.0	7.2	16.8	49.8	25.3	4.8	100.0

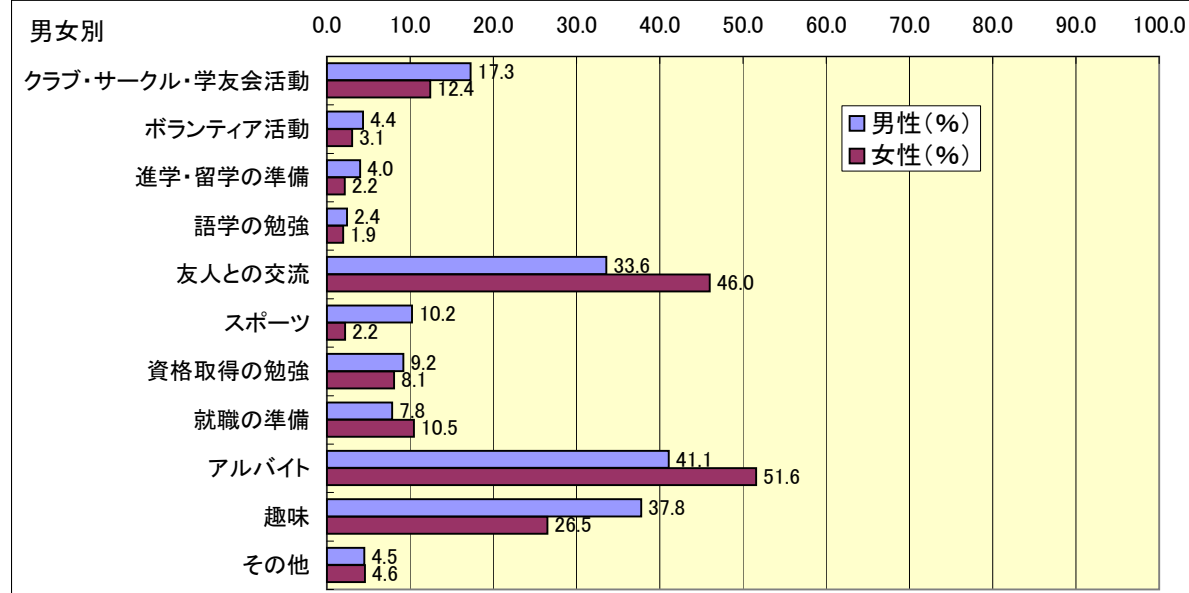


授業以外で時間をかけているものとして、全体として捉えれば、半数近くの学生が「アルバイト」と「友人との交流」に時間を費やしている。

「アルバイト」は、2年生よりも1年生の方が高く、男子よりも女子の方が高い。具体的に男女の傾向をその割合が高い順に見てみると、女子は「アルバイト」「友人との交流」「趣味」の順であるが、男子は「アルバイト」「趣味」「友人との交流」であり、2番目と3番目が入れ替わっている。問2で学生生活の満足度を尋ねた際、「何でも話せる友だちの存在」を挙げたのは、男子よりも女子の方が多いことから、女子は、授業以外の時間でも友だちと過ごす時間が多いと思われる、あらためて、学生生活のなかで何でも話せる友人の存在は大きいことが伺える。



「クラブ・サークル・学友会活動」は男女ともに4番目で、その割合は男子の方が女子より高い。問2で学生生活の満足度を尋ねた際、「クラブ・サークル・学友会活動が充実」と回答された割合が、学年・性別ともに一割にも満たない数字であったことから、授業以外の時間を「クラブ・サークル・学友会活動」に費やしているとの期待は薄い。今後とも、クラブ・サークル・学友会活動への参加を促進し、この割合を少しでも高めていることが課題であるとする。



問9. あなたの健康管理についてお聞きします。

(1) 一日の食事について (1つ)

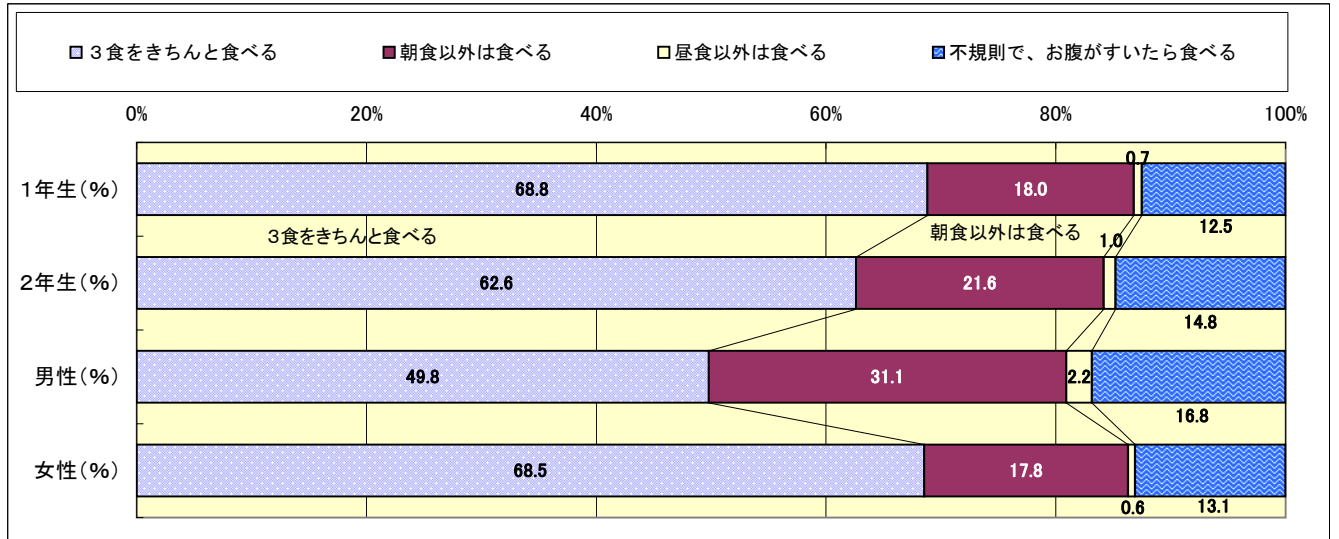
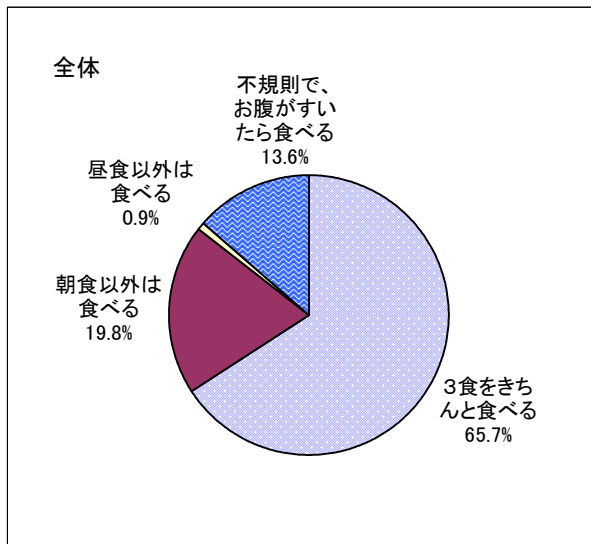
(N, %) 表 11

	3食をきちんと食べる	朝食以外は食べる	昼食以外は食べる	不規則で、お腹がすいたら食べる	有効回答
【総数】	21076	6336	277	4376	32065
全体 (%)	65.7	19.8	0.9	13.6	100.0
【学年別】					
1年生	11096	2896	111	2018	16121
1年生 (%)	68.8	18.0	0.7	12.5	100.0
2年生	9980	3440	166	2358	15944
2年生 (%)	62.6	21.6	1.0	14.8	100.0
【性別】					
男性	2395	1496	108	810	4809
男性 (%)	49.8	31.1	2.2	16.8	100.0
女性	18681	4840	169	3566	27256
女性 (%)	68.5	17.8	0.6	13.1	100.0
【学年×性別】					
1年生・男性	1300	716	42	371	2429
1年生・男性 (%)	53.5	29.5	1.7	15.3	100.0
1年生・女性	9796	2180	69	1647	13692
1年生・女性 (%)	71.5	15.9	0.5	12.0	100.0
2年生・男性	1095	780	66	439	2380
2年生・男性 (%)	46.0	32.8	2.8	18.4	100.0
2年生・女性	8885	2660	100	1919	13564
2年生・女性 (%)	65.5	19.6	0.7	14.1	100.0

一日の食事について、全体を見ると「3食きちんと食べている」回答した学生は65.7%で、学年別には、1学年が68.8%であり、2年生の62.6%と比べると、1年生の方が3食をきちんと摂取している割合がわずかながら高い。ただし、男子は、3食をきちんと食べている割合が50%を切っている。

3食きちんと食べている割合が約65%ということは、残りの35%は、いずれかの食事を抜いたり、不規則な時間に食事をするなど、食生活が乱れていることを示していて、決して楽観視できる割合ではない。

特に朝食の重要性は言うまでもないが、約2割の学生が朝食をとっていない。これも女子学生(17.8%)に比べ、男子学生(31.1%)の割合の方が高い。活力源である朝食の重要性および健康管理を行ううえで、規則正しい、バランスのとれた食生活が何より大切であるということを十分に認識させる必要がある。

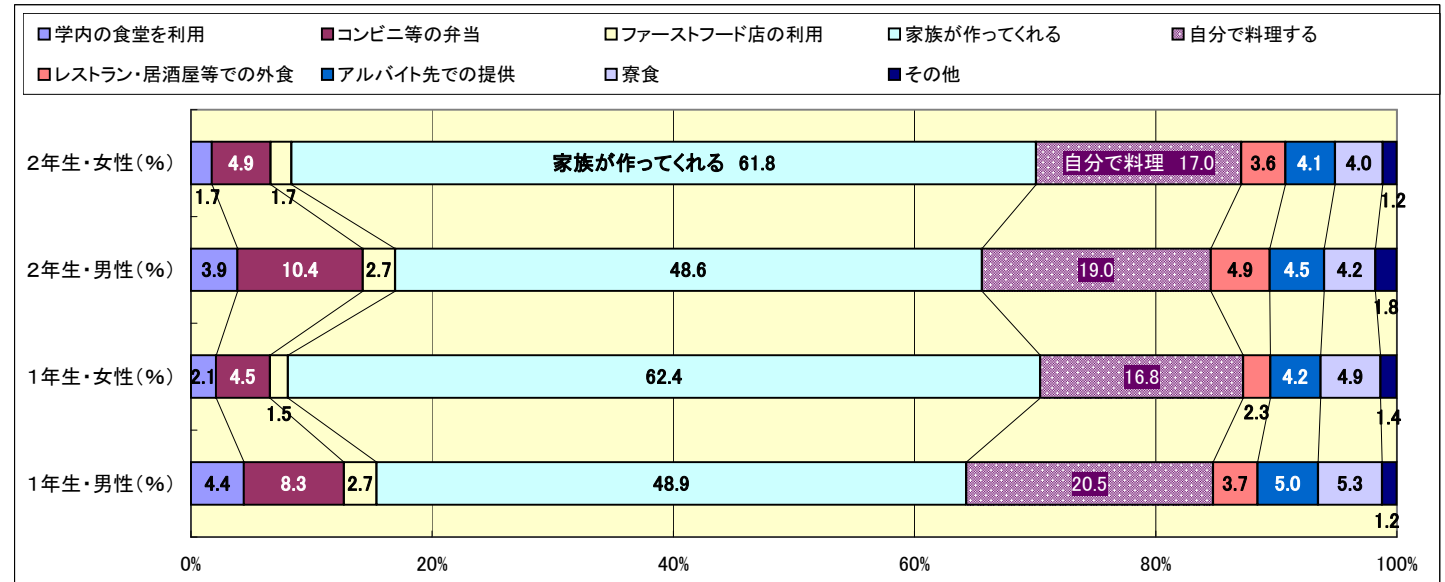
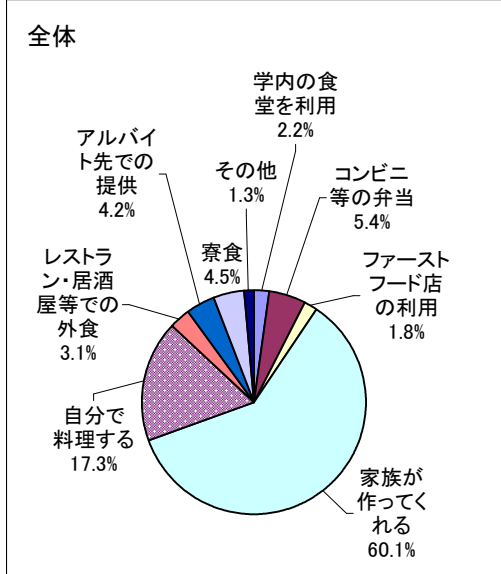


問9. (2) 夕食の形態で最も多いもの(1つ)

(N.%) 表 12

	学内の食堂を利用	コンビニ等の弁当	ファーストフード店の利用	家族が作ってくれる	自分で料理する	レストラン・居酒屋等での外食	アルバイト先での提供	寮食	その他	有効回答
【総数】	692	1676	550	18695	5396	980	1318	1401	406	31114
全体 (%)	2.2	5.4	1.8	60.1	17.3	3.1	4.2	4.5	1.3	100.0
【学年別】										
1年生	377	794	262	9462	2722	389	672	784	211	15673
1年生 (%)	2.4	5.1	1.7	60.4	17.4	2.5	4.3	5.0	1.3	100.0
2年生	315	882	288	9233	2674	591	646	617	195	15441
2年生 (%)	2.0	5.7	1.9	59.8	17.3	3.8	4.2	4.0	1.3	100.0
【性別】										
男性	192	436	126	2275	921	200	222	223	70	4665
男性 (%)	4.1	9.3	2.7	48.8	19.7	4.3	4.8	4.8	1.5	100.0
女性	500	1240	424	16420	4475	780	1096	1178	336	26449
女性 (%)	1.9	4.7	1.6	62.1	16.9	2.9	4.1	4.5	1.3	100.0
【学年×性別】										
1年生・男性	103	196	64	1153	483	87	118	125	29	2358
1年生・男性 (%)	4.4	8.3	2.7	48.9	20.5	3.7	5.0	5.3	1.2	100.0
1年生・女性	274	598	198	8309	2239	302	554	659	182	13315
1年生・女性 (%)	2.1	4.5	1.5	62.4	16.8	2.3	4.2	4.9	1.4	100.0
2年生・男性	89	240	62	1122	438	113	104	98	41	2307
2年生・男性 (%)	3.9	10.4	2.7	48.6	19.0	4.9	4.5	4.2	1.8	100.0
2年生・女性	226	642	226	8111	2236	478	542	519	154	13134
2年生・女性 (%)	1.7	4.9	1.7	61.8	17.0	3.6	4.1	4.0	1.2	100.0

夕食の形態は、全体的に自宅通学者が多いためか、「家族が作ってくれる」が60.1%であった。「コンビニ等の弁当」「ファーストフード店の利用」「外食」などの回答を合わせて考えてみると一人で食事をする個(孤)食の問題が潜んでいるようにも思われる。

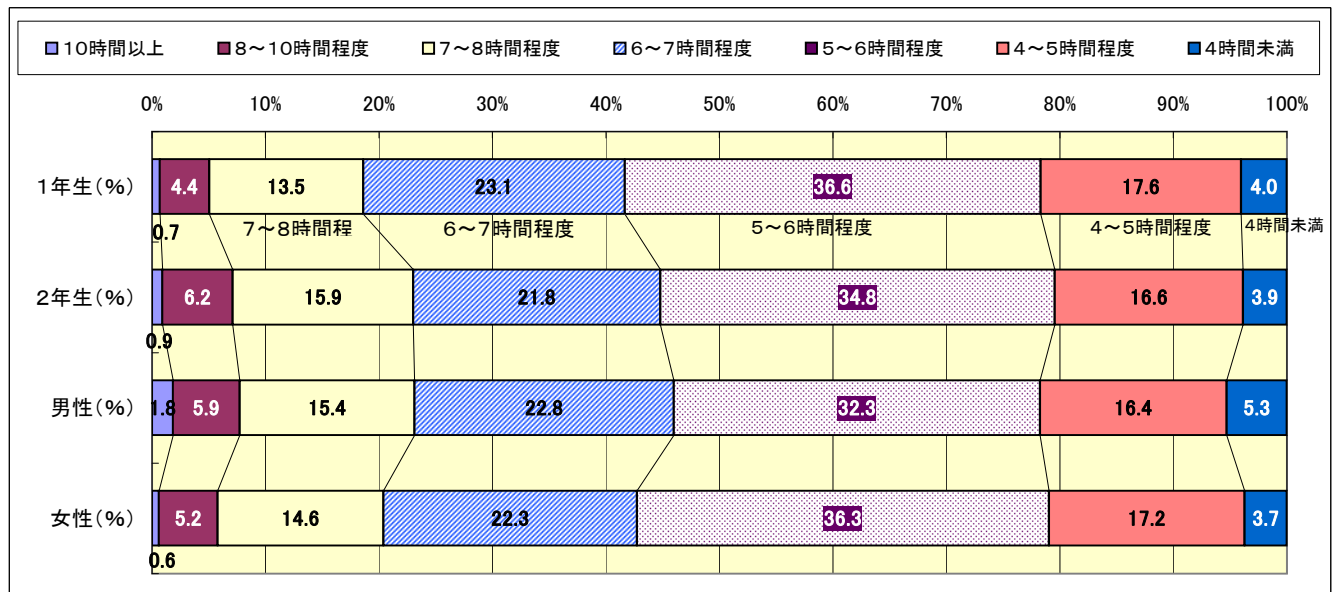
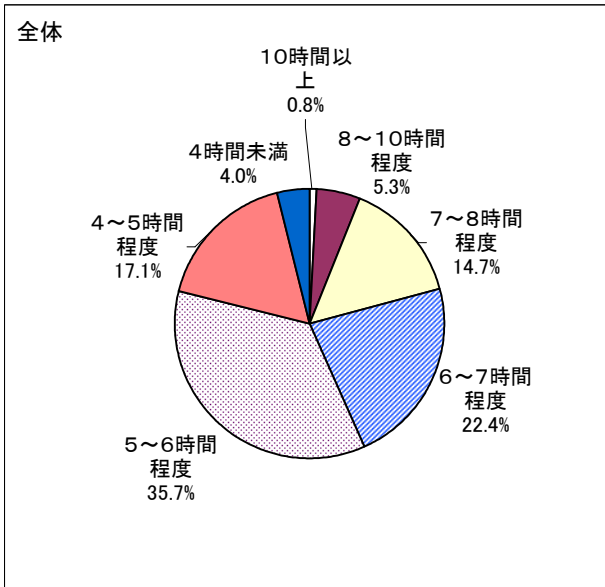


問9. (3) 一日の平均睡眠時間について(1つ)

(N.%) 表 13

	10時間以上	8~10時間程度	7~8時間程度	6~7時間程度	5~6時間程度	4~5時間程度	4時間未満	有効回答
【総数】	253	1697	4723	7190	11448	5492	1269	32072
全体 (%)	0.8	5.3	14.7	22.4	35.7	17.1	4.0	100.0
【学年別】								
1年生	107	709	2183	3719	5904	2845	652	16119
1年生 (%)	0.7	4.4	13.5	23.1	36.6	17.6	4.0	100.0
2年生	146	988	2540	3471	5544	2647	617	15953
2年生 (%)	0.9	6.2	15.9	21.8	34.8	16.6	3.9	100.0
【性別】								
男性	88	284	741	1099	1552	791	255	4810
男性 (%)	1.8	5.9	15.4	22.8	32.3	16.4	5.3	100.0
女性	165	1413	3982	6091	9896	4701	1014	27262
女性 (%)	0.6	5.2	14.6	22.3	36.3	17.2	3.7	100.0
【学年×性別】								
1年生・男性	37	127	349	586	814	386	130	2429
1年生・男性 (%)	1.5	5.2	14.4	24.1	33.5	15.9	5.4	100.0
1年生・女性	70	582	1834	3133	5090	2459	522	13690
1年生・女性 (%)	0.5	4.3	13.4	22.9	37.2	18.0	3.8	100.0
2年生・男性	51	157	392	513	738	405	125	2381
2年生・男性 (%)	2.1	6.6	16.5	21.5	31.0	17.0	5.2	100.0
2年生・女性	95	831	2148	2958	4806	2242	492	13572
2年生・女性 (%)	0.7	6.1	15.8	21.8	35.4	16.5	3.6	100.0

一日の睡眠時間は、5時間～8時間程度とする割合が72.8%であり、比較的健康的な生活を送っていることがわかった。この結果には、学年や男女別に大きな差はみられない。



問9. (4) 健康状態について (1つ)

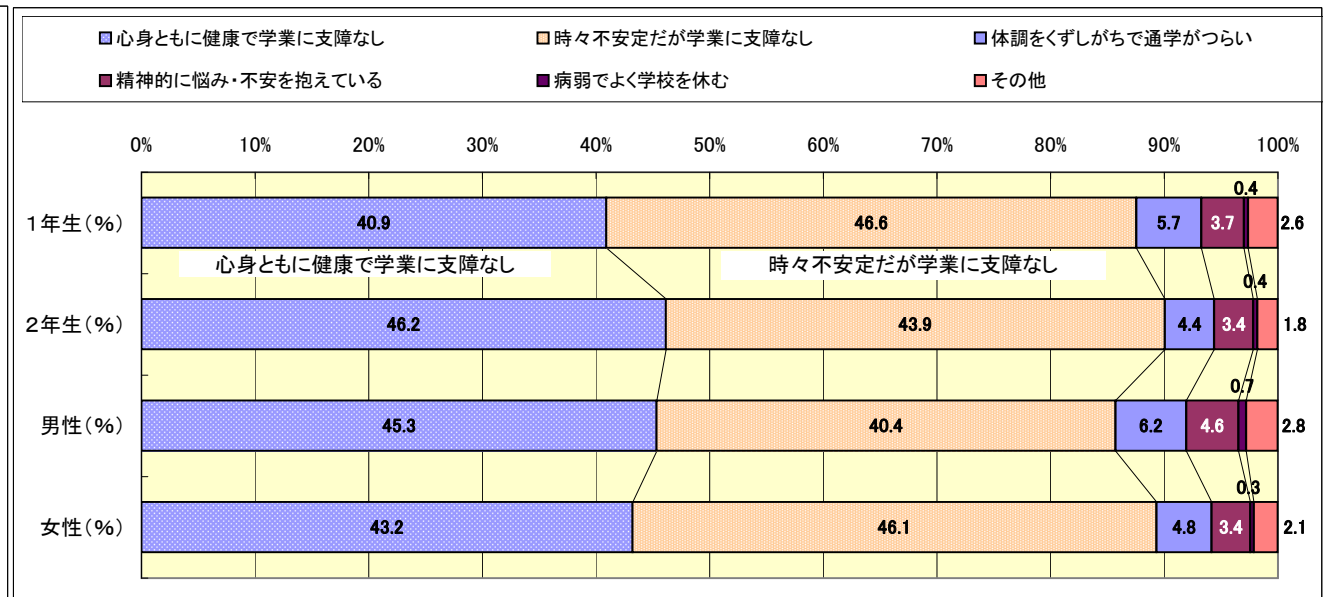
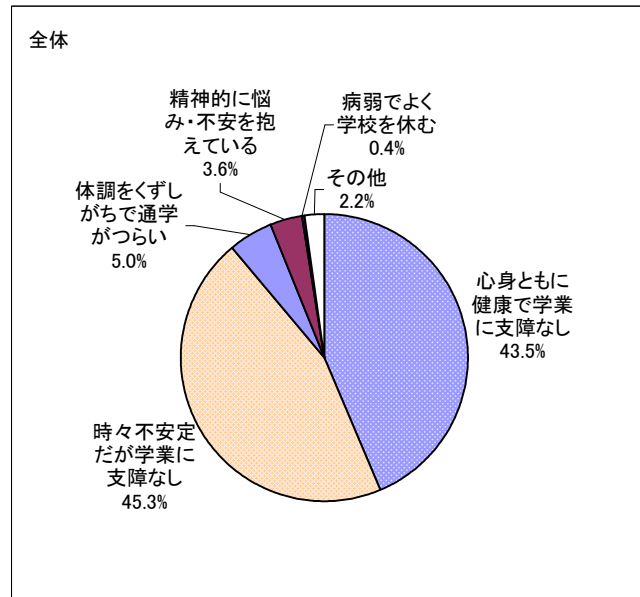
(N,%) 表 14

	心身ともに健康で学業に支障なし	時々不安定だが学業に支障なし	体調をくずしがちで通学がづらい	精神的に悩み・不安を抱えている	病弱でよく学校を休む	その他	有効回答
【総数】	13869	14427	1607	1142	122	702	31869
全体 (%)	43.5	45.3	5.0	3.6	0.4	2.2	100.0
【学年別】							
1年生	6550	7465	916	600	61	418	16010
1年生 (%)	40.9	46.6	5.7	3.7	0.4	2.6	100.0
2年生	7319	6962	691	542	61	284	15859
2年生 (%)	46.2	43.9	4.4	3.4	0.4	1.8	100.0
【性別】							
男性	2163	1929	297	218	33	133	4773
男性 (%)	45.3	40.4	6.2	4.6	0.7	2.8	100.0
女性	11706	12498	1310	924	89	569	27096
女性 (%)	43.2	46.1	4.8	3.4	0.3	2.1	100.0
【学年×性別】							
1年生・男性	1053	1006	162	105	14	69	2409
1年生・男性 (%)	43.7	41.8	6.7	4.4	0.6	2.9	100.0
1年生・女性	5497	6459	754	495	47	349	13601
1年生・女性 (%)	40.4	47.5	5.5	3.6	0.3	2.6	100.0
2年生・男性	1110	923	135	113	19	64	2364
2年生・男性 (%)	47.0	39.0	5.7	4.8	0.8	2.7	100.0
2年生・女性	6209	6039	556	429	42	220	13495
2年生・女性 (%)	46.0	44.7	4.1	3.2	0.3	1.6	100.0

自分の健康状態について、「心身ともに健康で学業に支障なし」と「時々不安定だが学業に支障なし」を合わせると、88.8%の学生が、学業に支障がない健康状態であると感じていて、これは1・2学年、男女共にほぼ同じ傾向を示している。

一方、少数回答ではあるが、「体調をくずしがちで通学がづらい」(5.0%)、「精神的に悩み・不安を抱えている」(3.6%)、また、「病弱のためよく学校を休む」(0.4%)と回答した学生を見過ごすことはできない。学生相談室のカウンセラーの常置や健康管理室の充実など、きめの細かい対応が望まれる。

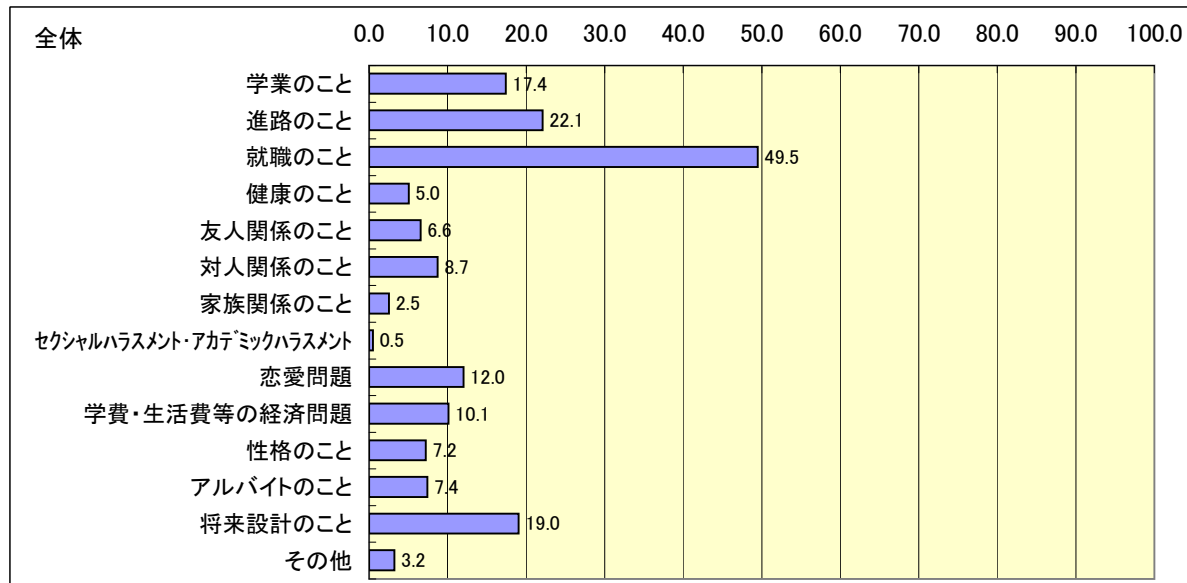
今の学生は、食生活や睡眠時間が乱れているのではないかという調査前の懸念があったが、今回の調査結果から、個々には問題を抱えている面はあるが、全体としては比較的多くの学生が健康的な生活を送っていることが伺える。



問10. 今抱えている不安や悩み、気になっていることはどのようなことですか。(2つまで)

(N.%) 表 15

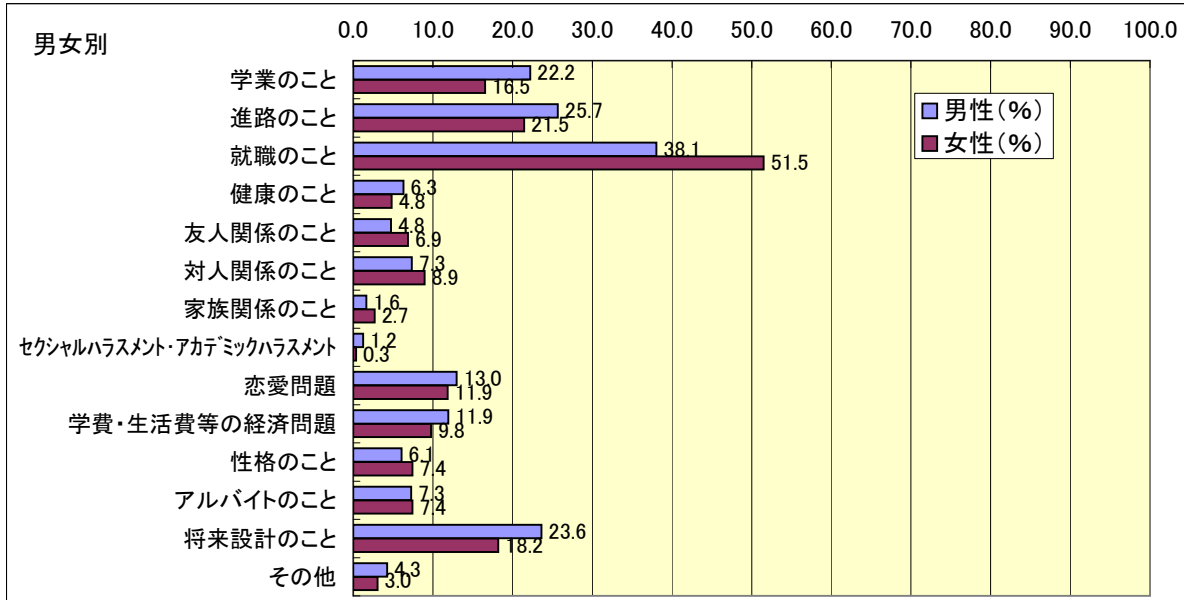
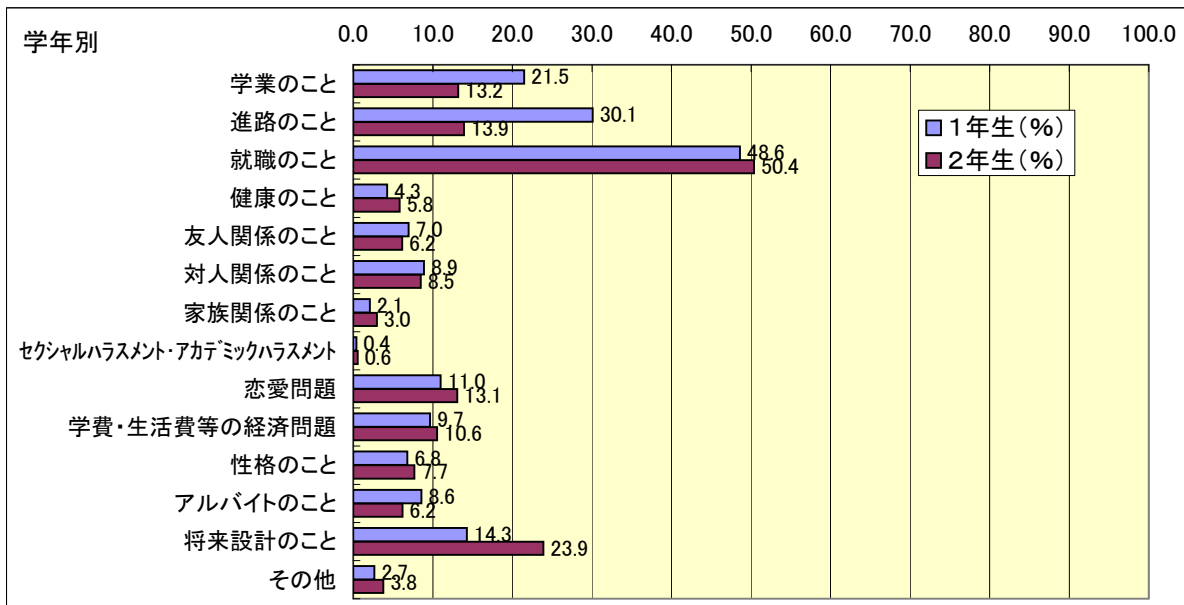
	学業のこと	進路のこと	就職のこと	健康のこと	友人関係のこと	対人関係のこと	家族関係のこと	セクシャルハラスメント・アカデミックハラスメント	恋愛問題	学費・生活費等の経済問題	性格のこと	アルバイトのこと	将来設計のこと	その他	有効回答
【総数】	5450	6924	15508	1580	2058	2728	795	151	3769	3165	2263	2320	5960	1009	31333
全体 (%)	17.4	22.1	49.5	5.0	6.6	8.7	2.5	0.5	12.0	10.1	7.2	7.4	19.0	3.2	100.0
【学年別】															
1年生	3408	4772	7709	679	1104	1412	333	64	1742	1532	1076	1361	2262	421	15856
1年生 (%)	21.5	30.1	48.6	4.3	7.0	8.9	2.1	0.4	11.0	9.7	6.8	8.6	14.3	2.7	100.0
2年生	2042	2152	7799	901	954	1316	462	87	2027	1633	1187	959	3698	588	15477
2年生 (%)	13.2	13.9	50.4	5.8	6.2	8.5	3.0	0.6	13.1	10.6	7.7	6.2	23.9	3.8	100.0
【性別】															
男性	1038	1199	1777	294	222	343	76	58	606	558	284	339	1103	199	4670
男性 (%)	22.2	25.7	38.1	6.3	4.8	7.3	1.6	1.2	13.0	11.9	6.1	7.3	23.6	4.3	100.0
女性	4412	5725	13731	1286	1836	2385	719	93	3163	2607	1979	1981	4857	810	26663
女性 (%)	16.5	21.5	51.5	4.8	6.9	8.9	2.7	0.3	11.9	9.8	7.4	7.4	18.2	3.0	100.0
【学年×性別】															
1年生・男性	597	728	881	144	129	166	38	24	286	278	140	213	467	79	2379
1年生・男性 (%)	25.1	30.6	37.0	6.1	5.4	7.0	1.6	1.0	12.0	11.7	5.9	9.0	19.6	3.3	100.0
1年生・女性	2811	4044	6828	535	975	1246	295	40	1456	1254	936	1148	1795	342	13477
1年生・女性 (%)	20.9	30.0	50.7	4.0	7.2	9.2	2.2	0.3	10.8	9.3	6.9	8.5	13.3	2.5	100.0
2年生・男性	441	471	896	150	93	177	38	34	320	280	144	126	636	120	2291
2年生・男性 (%)	19.2	20.6	39.1	6.5	4.1	7.7	1.7	1.5	14.0	12.2	6.3	5.5	27.8	5.2	100.0
2年生・女性	1601	1681	6903	751	861	1139	424	53	1707	1353	1043	833	3062	468	13186
2年生・女性 (%)	12.1	12.7	52.4	5.7	6.5	8.6	3.2	0.4	12.9	10.3	7.9	6.3	23.2	3.5	100.0



今抱えている不安や悩み、気になっていることとして、「就職のこと」を挙げた学生が全体として約半数、次いで「進路のこと」、「将来設計のこと」、「学業のこと」の順で高い。この結果には、学年別および男女別で特徴が表れている。1位に挙げられた「就職のこと」は、男子よりも女子の方が高く、1年生の時から半数の学生が不安や悩みを抱えている。一方、「進路・将来設計・学業」については、女子よりも男子の方が不安や悩みに思っている。

また、「進路・学業」については、2年生よりも1年生の方が不安や悩みを抱えており、「将来設計」については、2年生の方が高い。学年が進むにつれて、大きく人生を捉えた将来設計を考えて不安になっているのであろう。

問1で短大に入学した理由として挙げられた資格や専門分野を活かして、どのように自分の進むべき道を模索したらよいか、他の選択肢よりもより強く不安や悩みを抱えている結果が示された。ただその割には、問7のより充実して欲しい短大教育として「キャリア教育」を挙げた学生の割合は6.3%と低く、また問8で授業以外で時間をかけているものとして、「就職の準備」を挙げた学生は10.1%に過ぎず、不安や悩みを解消するために自らが行動を起こすところまではいっていないようにも思える。

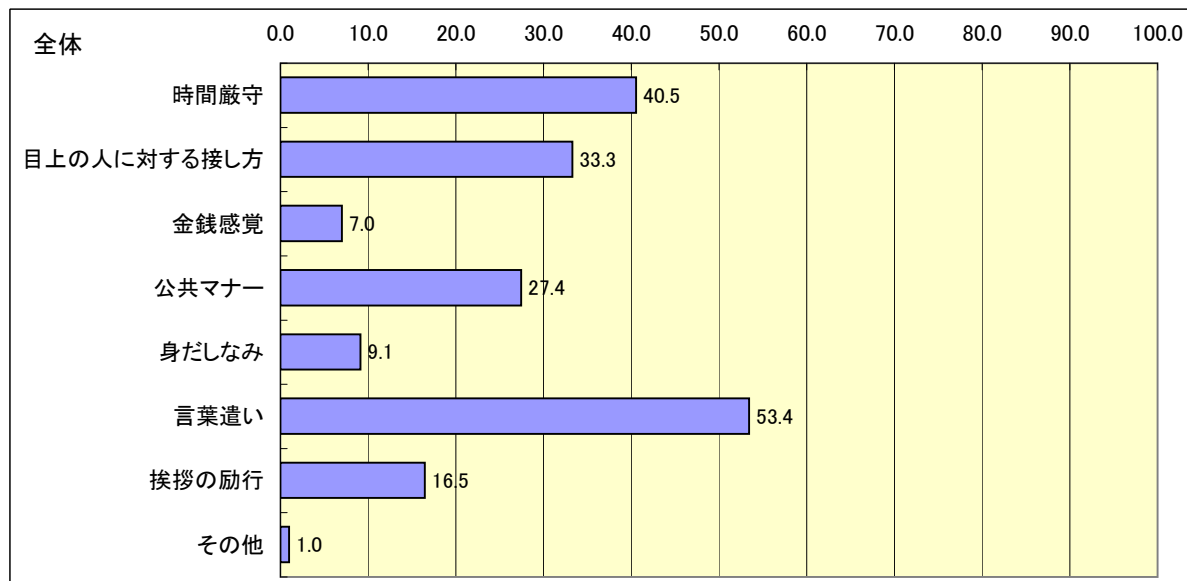


割合は一割にも満たないものだが、特に友人・対人・家族関係や恋愛問題、ハラスメント、性格などの人間関係上のトラブルや感情に起因する不安や悩みは、こじれると学生生活の存続にもかかわる状況に陥ることも十分に考えられることから、学生相談室を利用しやすい環境づくりやカウンセラーへの相談など、対応するに十分な体制は整えておく必要がある。

問11. やがて社会人になるために、特に身に付けておく必要のある基本的な生活習慣とは何だと思えますか。(2つまで)

(N.%) 表 16

	時間厳守	目上の人 に対する 接し方	金銭感覚	公共マ ナー	身だしな み	言葉遣い	挨拶の励 行	その他	有効回答
【総数】	12909	10596	2231	8739	2906	17017	5245	319	31848
全体 (%)	40.5	33.3	7.0	27.4	9.1	53.4	16.5	1.0	100.0
【学年別】									
1年生	6256	5268	1083	4624	1564	8663	2543	157	16014
1年生 (%)	39.1	32.9	6.8	28.9	9.8	54.1	15.9	1.0	100.0
2年生	6653	5328	1148	4115	1342	8354	2702	162	15834
2年生 (%)	42.0	33.6	7.3	26.0	8.5	52.8	17.1	1.0	100.0
【性別】									
男性	2102	1419	605	1284	499	2091	755	81	4759
男性 (%)	44.2	29.8	12.7	27.0	10.5	43.9	15.9	1.7	100.0
女性	10807	9177	1626	7455	2407	14926	4490	238	27089
女性 (%)	39.9	33.9	6.0	27.5	8.9	55.1	16.6	0.9	100.0
【学年×性別】									
1年生・男性	1053	714	288	673	274	1064	369	37	2403
1年生・男性 (%)	43.8	29.7	12.0	28.0	11.4	44.3	15.4	1.5	100.0
1年生・女性	5203	4554	795	3951	1290	7599	2174	120	13611
1年生・女性 (%)	38.2	33.5	5.8	29.0	9.5	55.8	16.0	0.9	100.0
2年生・男性	1049	705	317	611	225	1027	386	44	2356
2年生・男性 (%)	44.5	29.9	13.5	25.9	9.6	43.6	16.4	1.9	100.0
2年生・女性	5604	4623	831	3504	1117	7327	2316	118	13478
2年生・女性 (%)	41.6	34.3	6.2	26.0	8.3	54.4	17.2	0.9	100.0

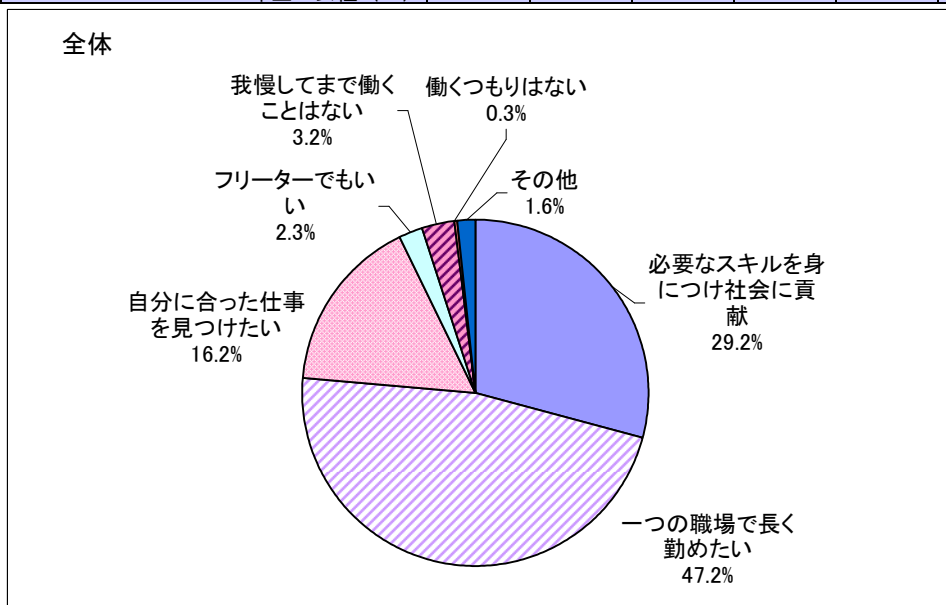


やがて社会人になった時に、必要とされる基本的な生活習慣について、学生自らがどのように捉えているのか、とても興味深かったが、最も必要と思われたのは「言葉遣い」で半数を超えている。次いで「時間厳守」(40.5%)、「目上の人に対する接し方」(33.3%)、「公共マナー」(27.4%)の順であった。学生たちは自分の足りないものがよく分かっている。問7で短大教育の中でより充実して欲しいものとして、3番目に「マナー教育」を挙げていることから、学生自身もその必要性を自覚し、社会人になる前の学生生活の中できちんと身に付けておきたいとの思いが伺える。「挨拶の励行」が16.5%と他に比べ低い割合であることは残念だが、基本的な生活習慣は机上のものではなく、自然と身に付けるものであるため、日々学生と接する教職員がその都度指導していくことが何より大切なことだろう。時には成果が確認できる方法で指導することも必要なことかもしれない。

問12. 将来「働くこと」についてどのように考えていますか。(1つ)

(N.%) 表 17

	必要なスキルを身につけ社会に貢献	一つの職場で長く勤めたい	自分に合った仕事を見つけない	フリーターでもいい	我慢してまで働くことはない	働くつもりはない	その他	有効回答
【総数】	9162	14837	5101	710	1013	91	498	31412
全体 (%)	29.2	47.2	16.2	2.3	3.2	0.3	1.6	100.0
【学年別】								
1年生	4460	7939	2412	304	427	40	215	15797
1年生 (%)	28.2	50.3	15.3	1.9	2.7	0.3	1.4	100.0
2年生	4702	6898	2689	406	586	51	283	15615
2年生 (%)	30.1	44.2	17.2	2.6	3.8	0.3	1.8	100.0
【性別】								
男性	1637	2031	629	85	116	30	139	4667
男性 (%)	35.1	43.5	13.5	1.8	2.5	0.6	3.0	100.0
女性	7525	12806	4472	625	897	61	359	26745
女性 (%)	28.1	47.9	16.7	2.3	3.4	0.2	1.3	100.0
【学年×性別】								
1年生・男性	816	1063	308	38	49	13	67	2354
1年生・男性 (%)	34.7	45.2	13.1	1.6	2.1	0.6	2.8	100.0
1年生・女性	3644	6876	2104	266	378	27	148	13443
1年生・女性 (%)	27.1	51.1	15.7	2.0	2.8	0.2	1.1	100.0
2年生・男性	821	968	321	47	67	17	72	2313
2年生・男性 (%)	35.5	41.9	13.9	2.0	2.9	0.7	3.1	100.0
2年生・女性	3881	5930	2368	359	519	34	211	13302
2年生・女性 (%)	29.2	44.6	17.8	2.7	3.9	0.3	1.6	100.0



短大生が将来「働く」ということをどのように考えているのか尋ねた。最も高い割合は、「一つの職場で長く勤めたい」が47.2%で約半数の学生があまり転職などを考えず、同じ職場で働きたいと考えている。この意識は、2年生よりも1年生の方が、男子よりも女子の方がわずかながら強い。安定性を求めているようにも思える。次いで「必要なスキルを身につけ社会に貢献したい」が29.2%で、資格や専門分野で学んだスキルを生かして働きたいと考えている学生は、2年生の方が1年生よりわずかに強く、男子の方がその割合は高い。どんな職業・職種に就きたいのかがはっきりしているのであろう。一方、「自分にあった仕事を見つけない」は16.2%で、予想したより低い割合であったのは、自分にあった仕事に就けることは現実には難しいと認識しているからかもしれない。

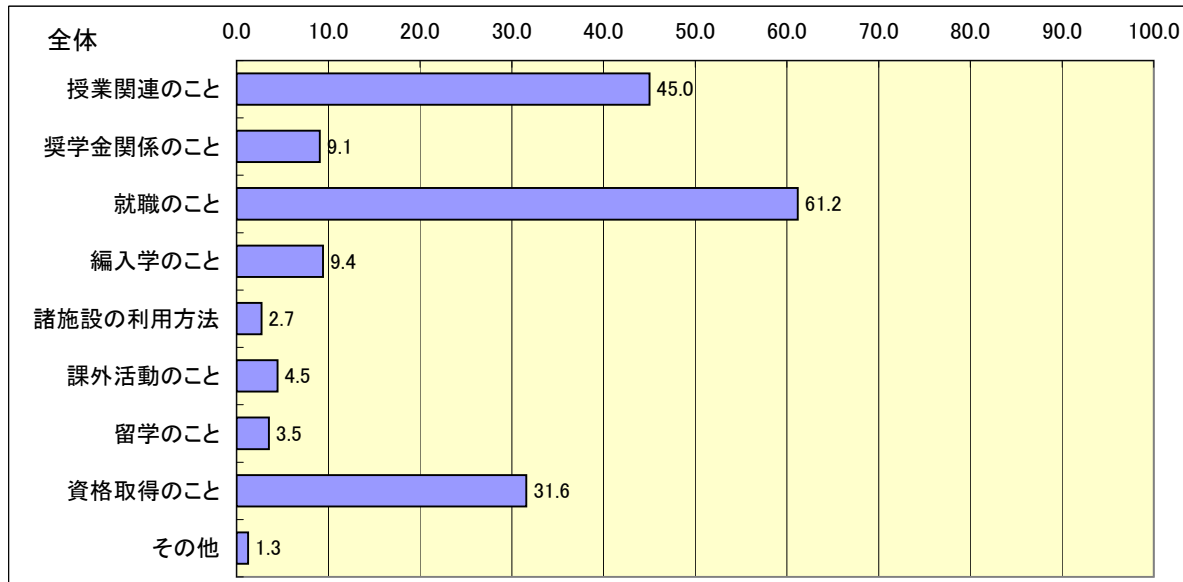
このように将来を見据えて、前向きに「働くこと」を考えている学生に対し、その割合は思ったより少なかったが、一割弱の学生が働くことを重要視していないとも伺える結果が示された。

働くことに対する意識をいかに確立して持続させ、就職に結びつけるかが今後の学生支援の最重要課題ではないだろうか。

問13. 適切に提供して欲しい情報の内容はどのようなことですか。(2つまで)

(N,%) 表 18

	授業関連 のこと	奨学金関 係のこと	就職のこ と	編入学の こと	諸施設の 利用方法	課外活動 のこと	留学のこ と	資格取得 のこと	その他	有効回答
【総数】	14215	2869	19322	2973	864	1410	1113	9977	395	31581
全体 (%)	45.0	9.1	61.2	9.4	2.7	4.5	3.5	31.6	1.3	100.0
【学年別】										
1年生	6702	1520	10059	1847	330	705	521	5365	179	15917
1年生 (%)	42.1	9.5	63.2	11.6	2.1	4.4	3.3	33.7	1.1	100.0
2年生	7513	1349	9263	1126	534	705	592	4612	216	15664
2年生 (%)	48.0	8.6	59.1	7.2	3.4	4.5	3.8	29.4	1.4	100.0
【性別】										
男性	2019	544	2339	776	219	368	147	1546	93	4713
男性 (%)	42.8	11.5	49.6	16.5	4.6	7.8	3.1	32.8	2.0	100.0
女性	12196	2325	16983	2197	645	1042	966	8431	302	26868
女性 (%)	45.4	8.7	63.2	8.2	2.4	3.9	3.6	31.4	1.1	100.0
【学年×性別】										
1年生・男性	996	274	1213	457	103	185	75	791	44	2388
1年生・男性 (%)	41.7	11.5	50.8	19.1	4.3	7.7	3.1	33.1	1.8	100.0
1年生・女性	5706	1246	8846	1390	227	520	446	4574	135	13529
1年生・女性 (%)	42.2	9.2	65.4	10.3	1.7	3.8	3.3	33.8	1.0	100.0
2年生・男性	1023	270	1126	319	116	183	72	755	49	2325
2年生・男性 (%)	44.0	11.6	48.4	13.7	5.0	7.9	3.1	32.5	2.1	100.0
2年生・女性	6490	1079	8137	807	418	522	520	3857	167	13339
2年生・女性 (%)	48.7	8.1	61.0	6.0	3.1	3.9	3.9	28.9	1.3	100.0

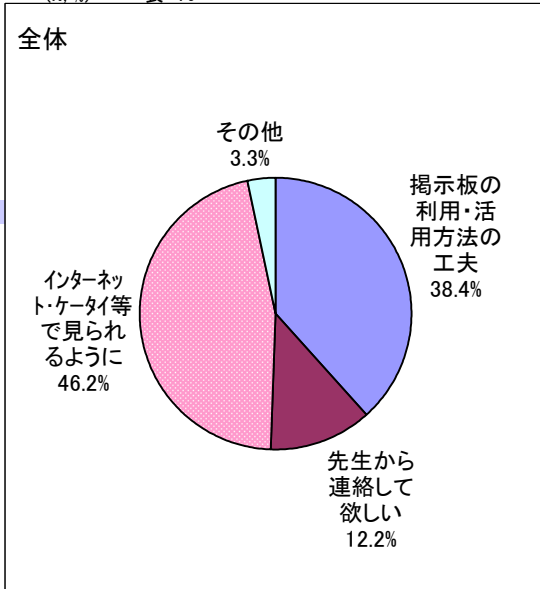


学生が私たちに適切に提供して欲しい情報とはどのようなことなのかを尋ねたところ、「就職のこと」が最も高く61.2%にのぼる。次いで「授業関連のこと」(45.0%)、「資格取得のこと」(31.6%)であり、「就職」とその就職に関連性の深い資格取得のための「授業」について関心が高く、そのための適切な情報提供を強く望んでいる。「就職のこと」と「授業関連のこと」が上位を占めていることは、問12にも関連するが、短大で勉強したことを生かして就職したいという意識が強いことが伺える。1年生の方が2年生より「就職」や「資格取得」に対する関心は高く、「就職」に対しては男子より女子の方が適切な情報提供を求める割合が高い。選択肢の中から選んでいるので、この結果が全てではないが、学生がどのような情報提供を望んでいるのかを的確に把握し、学生支援に生かしていくことが重要であろう。

問14. 連絡方法で改善して欲しいことは何ですか。(1つ)

(N.%) 表 19

	掲示板の 利用・活 用方法の 工夫	先生から 連絡して 欲しい	インターネット・ ケータイ等 で見られる ように	その他	有効回答
【総数】	11819	3750	14222	1017	30808
全体 (%)	38.4	12.2	46.2	3.3	100.0
【学年別】					
1年生	6001	2157	6838	493	15489
1年生 (%)	38.7	13.9	44.1	3.2	100.0
2年生	5818	1593	7384	524	15319
2年生 (%)	38.0	10.4	48.2	3.4	100.0
【性別】					
男性	1855	676	1865	193	4589
男性 (%)	40.4	14.7	40.6	4.2	100.0
女性	9964	3074	12357	824	26219
女性 (%)	38.0	11.7	47.1	3.1	100.0
【学年×性別】					
1年生・男性	956	357	922	92	2327
1年生・男性 (%)	41.1	15.3	39.6	4.0	100.0
1年生・女性	5045	1800	5916	401	13162
1年生・女性 (%)	38.3	13.7	44.9	3.0	100.0
2年生・男性	899	319	943	101	2262
2年生・男性 (%)	39.7	14.1	41.7	4.5	100.0
2年生・女性	4919	1274	6441	423	13057
2年生・女性 (%)	37.7	9.8	49.3	3.2	100.0



学生に連絡方法で改善して欲しいことを尋ねたが、「インターネット・ケータイ等で見られるようにして欲しい」との回答が最も高く46.2%であった。情報提供機能が発達し、ほとんどの学生がケータイを持っていることから、必要な情報をいち早く知らせたいと望んでいることが伺える。インターネットやケータイに馴染みのある現代若者の傾向が見てとれる。次いで「掲示板の利用・活用方法の工夫」が38.4%である。掲示板の必要性・有効性は認識しているものの、見落としや掲示方法などによって確実に情報が届かないことを危惧している状況が伺え、工夫を望んでいる。直接「先生から連絡して欲しい」は12.2%であった。今後、インターネットの構築と従来の連絡方法「掲示板」の活用は、各短大で工夫する必要がある。

ただ、学生への利便性を優先するあまり、事前に授業の休講を知らず、大学に来ないなど、大学から離れることが予想される。クラブ・サークル活動への加入率が低く、時授業以外ではアルバイトに時間を費やしている学生の実態を垣間見ると、なおさら懸念される。伝えたい情報は、迅速かつ正確に学生の元に届くことが何より大切ではあることは言うまでもないが、その方法を学内の関係部署との連携により、有効に機能することが望まれる。

平成20年度 学生生活委員会委員

末岡 熙章	名古屋経済大学短期大学部 理事長・学長（委員長）
堀 美稚	大妻女子大学短期大学部 寮監長（副委員長）
高橋 節子	郡山女子大学短期大学部 家庭寮顧問
須賀 剛	国際学院埼玉短期大学 学生支援課係長
幸田 和也	聖徳大学短期大学部 学生部次長
鹿倉 秀典	青山学院女子短期大学 教授
柴田 弘子	杉野服飾大学短期大学部 学生課長
高柳 和直	東京農業大学短期大学部 学生生活支援課長
笠井 里津子	日本体育大学女子短期大学部 准教授
宮本 朱	文化女子大学短期大学部 学生課長
松村 敦子	目白大学短期大学部 学生サービスグループマネージャー
辻 昭	東海大学短期大学部 静岡事務室長補佐
榎木 孝	岐阜聖徳学園大学短期大学部 学生課長
内藤 智徳	名古屋短期大学 学生課長
小出 耕司	華頂短期大学 学生センター学生課長
岡本 幸治	平安女学院大学短期大学部 学生部副部長
岸田 良三	園田学園女子大学短期大学部 学生課長

（平成20年11月現在）



本調査にご協力いただきました会員短期大学の教職員および学生の皆様に、厚く御礼申し上げます。